

吉岡町の財政状況

平成29年度決算

平成30年3月31日現在

人 口：21,232人

男：10,394人

女：10,838人

世 帯：7,902世帯

面 積：20.46 km²

平成30年12月

【目 次】

1. 一般会計決算	1
(1) 歳入	1
ア 款別	1
イ 目的別	2
ウ 一般財源・特定財源	3
エ 自主財源・依存財源	4
(2) 歳出	5
ア 款別	5
イ 性質別	6
(3) 町税	7
ア 決算額	7
イ 町民1人あたり決算額	8
ウ 1世帯あたり決算額	8
2. 会計別決算	9
3. 財産の状況	11
(1) 年度末現在高	11
(2) 年度末現在高（町民1人あたり）	11
(3) 年度末現在高（1世帯あたり）	11
(4) 主な財産の増減内訳	12
(5) 基金残高	14
(6) 基金残高（町民1人あたり）	15
(7) 基金残高（1世帯あたり）	16
(8) 基金残高の推移	17
4. 町債の状況	20
(1) 一般会計現在高	20
(2) 会計別現在高	23
(3) 会計別現在高（町民1人あたり）	24
(4) 会計別現在高（1世帯あたり）	25
(5) 町債残高の推移	26
(6) 公債費の推移	28
5. 主要事業一覧表	31
6. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成29年度主要事業一覧表（再掲）	75

1. 一般会計決算

(1) 歳入

ア 款別

(単位：円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 町税	2,501,234,547	34.2	2,451,541,506	33.8	49,693,041	2.0
2. 地方譲与税	88,264,000	1.2	86,746,000	1.2	1,518,000	1.7
3. 利子割交付金	4,256,000	0.1	2,403,000	0.0	1,853,000	77.1
4. 配当割交付金	11,768,000	0.2	7,705,000	0.1	4,063,000	52.7
5. 株式等譲渡所得割交付金	12,076,000	0.2	4,514,000	0.1	7,562,000	167.5
6. 地方消費税交付金	350,363,000	4.8	320,213,000	4.4	30,150,000	9.4
7. ゴルフ場利用税交付金	1,481,476	0.0	1,290,282	0.0	191,194	14.8
8. 自動車取得税交付金	27,467,000	0.4	19,847,000	0.3	7,620,000	38.4
9. 地方特例交付金	26,568,000	0.4	23,920,000	0.3	2,648,000	11.1
10. 地方交付税	1,152,939,000	15.7	1,192,271,000	16.5	△39,332,000	△3.3
うち普通交付税	1,034,447,000	14.1	1,059,859,000	14.6	△25,412,000	△2.4
11. 交通安全対策特別交付金	3,652,000	0.0	3,862,000	0.1	△210,000	△5.4
12. 分担金及び負担金	155,639,480	2.1	157,944,670	2.2	△2,305,190	△1.5
13. 使用料及び手数料	34,909,666	0.5	35,834,154	0.5	△924,488	△2.6
14. 国庫支出金	1,076,700,855	14.7	1,271,736,928	17.5	△195,036,073	△15.3
15. 県支出金	574,329,502	7.8	633,510,824	8.7	△59,181,322	△9.3
16. 財産収入	5,231,995	0.1	6,252,874	0.1	△1,020,879	△16.3
17. 寄附金	37,505,605	0.5	40,795,000	0.6	△3,289,395	△8.1
18. 繰入金	689,831,830	9.4	399,653,237	5.5	290,178,593	72.6
うち財政調整基金	240,000,000	3.3	380,000,000	5.2	△140,000,000	△36.8
19. 繰越金	71,293,898	1.0	32,902,595	0.5	38,391,303	116.7
20. 諸収入	124,231,979	1.7	135,625,819	1.8	△11,393,840	△8.4
21. 町債	367,000,000	5.0	418,800,000	5.8	△51,800,000	△12.4
うち臨時財政対策債	282,200,000	3.9	267,000,000	3.7	15,200,000	5.7
歳 入 合 計	7,316,743,833	100.0	7,247,368,889	100.0	69,374,944	1.0

イ 目的別

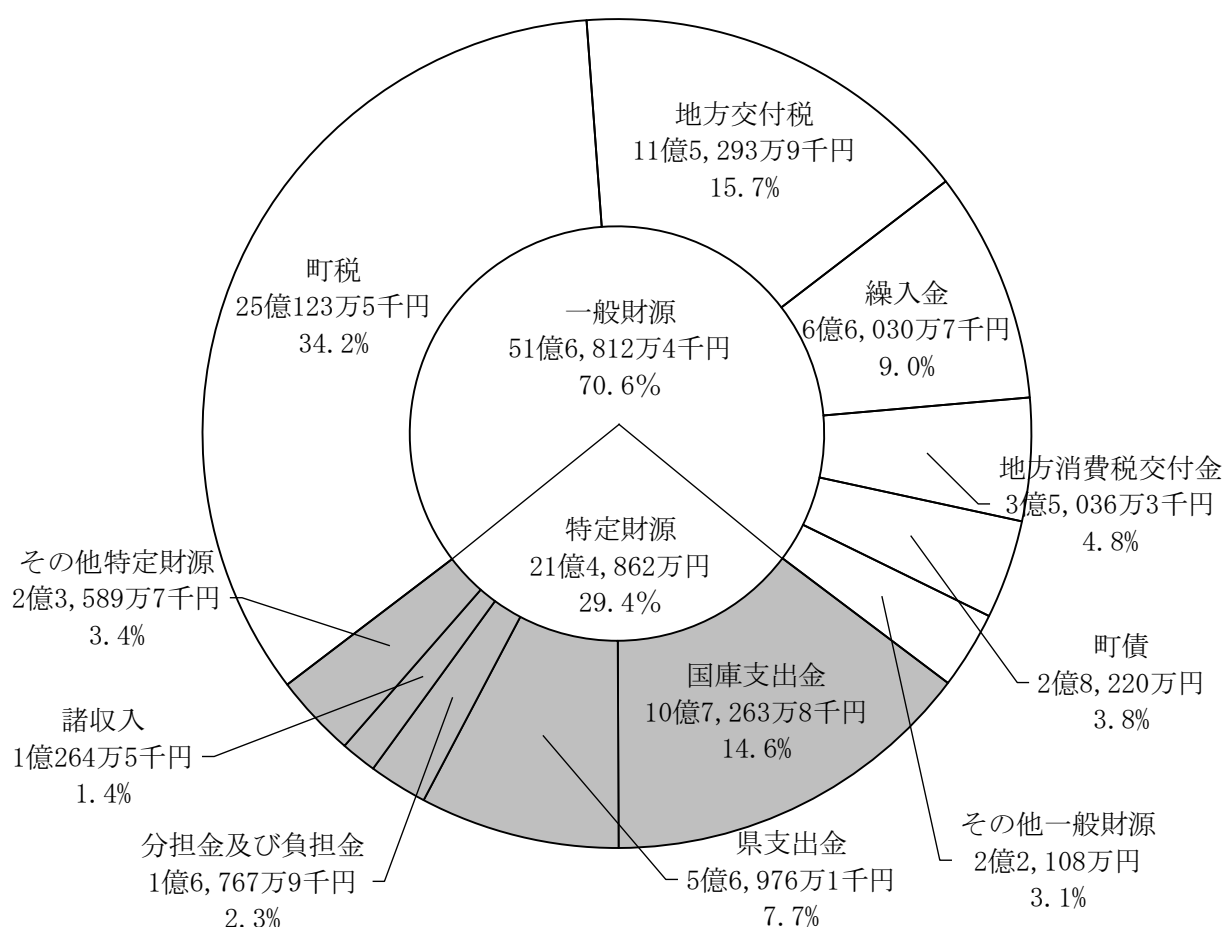
(単位：千円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
町税	2,501,235	34.2	2,451,542	33.8	49,693	2.0
地方譲与税	88,264	1.2	86,746	1.2	1,518	1.7
利子割交付金	4,256	0.1	2,403	0.0	1,853	77.1
配当割交付金	11,768	0.2	7,705	0.1	4,063	52.7
株式等譲渡所得割交付金	12,076	0.2	4,514	0.1	7,562	167.5
地方消費税交付金	350,363	4.8	320,213	4.4	30,150	9.4
ゴルフ場利用税交付金	1,481	0.0	1,290	0.0	191	14.8
自動車取得税交付金	27,467	0.4	19,847	0.3	7,620	38.4
地方特例交付金	26,568	0.4	23,920	0.3	2,648	11.1
地方交付税	1,152,939	15.7	1,192,271	16.5	△39,332	△3.3
交通安全対策特別交付金	3,652	0.0	3,862	0.1	△210	△5.4
分担金及び負担金	167,679	2.3	169,824	2.3	△2,145	△1.3
使用料	23,365	0.3	24,657	0.3	△1,292	△5.2
手数料	11,545	0.2	11,177	0.2	368	3.3
国庫支出金	1,076,701	14.7	1,271,737	17.5	△195,036	△15.3
県支出金	574,330	7.8	633,511	8.7	△59,181	△9.3
財産収入	5,232	0.1	6,254	0.1	△1,022	△16.3
寄附金	37,506	0.5	40,795	0.6	△3,289	△8.1
繰入金	689,832	9.4	399,653	5.5	290,179	72.6
繰越金	71,294	1.0	32,903	0.5	38,391	116.7
諸収入	112,191	1.5	123,745	1.7	△11,554	△9.3
町債	367,000	5.0	418,800	5.8	△51,800	△12.4
歳 入 合 計	7,316,744	100.0	7,247,369	100.0	69,375	1.0

ウ 一般財源・特定財源

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
一 般 財 源	5,168,124	70.6	4,846,114	66.9	322,010	6.6
特 定 財 源	2,148,620	29.4	2,401,255	33.1	△252,635	△10.5
歳 入 合 計	7,316,744	100.0	7,247,369	100.0	69,375	1.0



- 一般財源…町税、地方交付税などの使途が特定されていない財源

【その他一般財源の内訳】

地方譲与税 (8,826 万 4 千円、1.2%)、自動車取得税交付金 (2,746 万 7 千円、0.4%)、地方特例交付金 (2,656 万 8 千円、0.4%)、繰越金 (1,636 万 2 千円、0.2%)、株式等譲渡所得割交付金 (1,207 万 6 千円、0.2%)、配当割交付金 (1,176 万 8 千円、0.2%) など

- 特定財源…国庫支出金、分担金及び負担金などの使途が特定されている財源

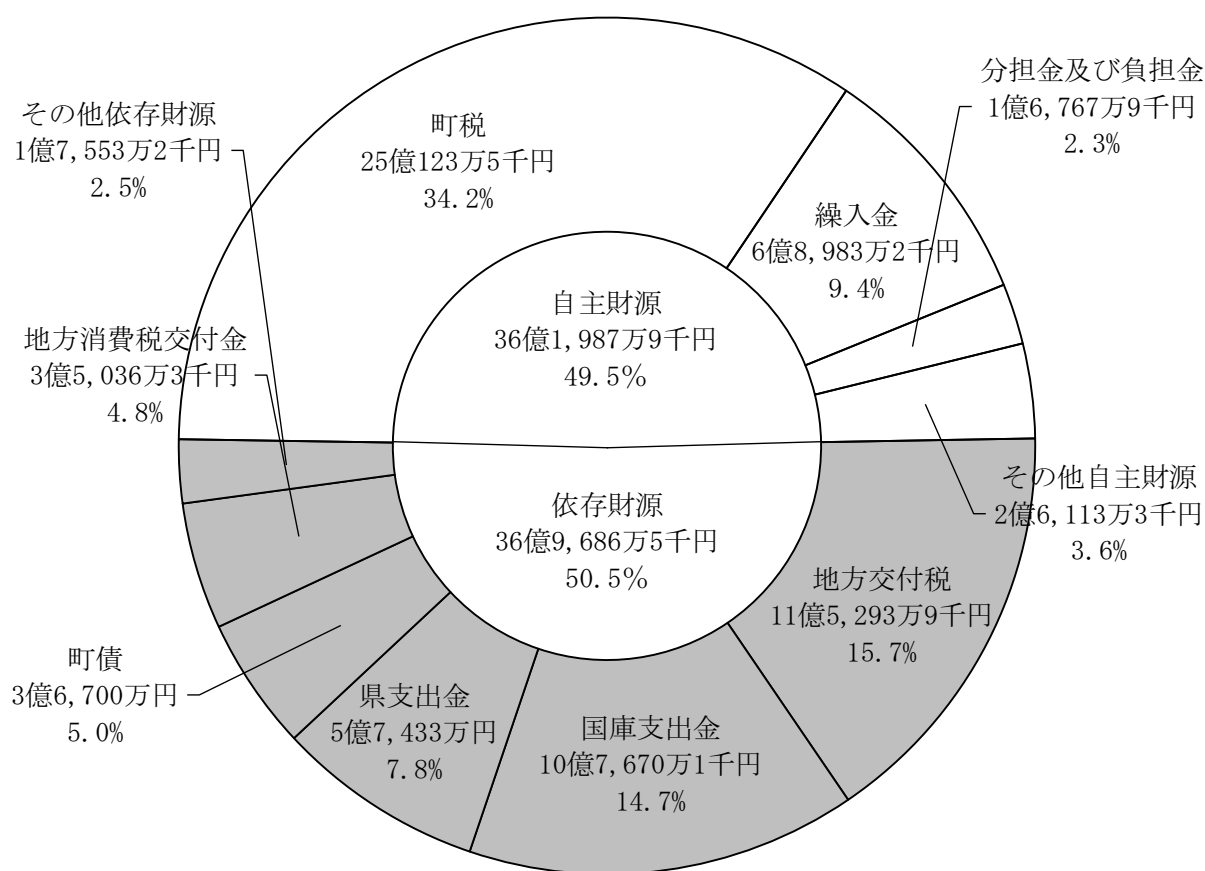
【その他特定財源の内訳】

町債 (8,480 万円、1.2%)、繰越金 (5,493 万 2 千円、0.8%)、寄附金 (3,110 万円、0.4%)、繰入金 (2,952 万 5 千円、0.4%)、使用料 (2,103 万 7 千円、0.3%)、手数料 (1,154 万 5 千円、0.2%) など

エ 自主財源・依存財源

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
自 主 財 源	3,619,879	49.5	3,260,550	45.0	359,329	11.0
依 存 財 源	3,696,865	50.5	3,986,819	55.0	△289,954	△7.3
歳 入 合 計	7,316,744	100.0	7,247,369	100.0	69,375	1.0



- 自主財源…町税、繰入金、分担金及び負担金など

【その他自主財源の内訳】

諸収入 (1 億 1,219 万 1 千円、1.5%)、繰越金 (7,129 万 4 千円、1.0%)、寄附金 (3,750 万 6 千円、0.5%)、使用料 (2,336 万 5 千円、0.3%)、手数料 (1,154 万 5 千円、0.2%)、財産収入 (523 万 2 千円、0.1%)

- 依存財源…地方交付税、国庫支出金、地方譲与税、町債、各種交付金など

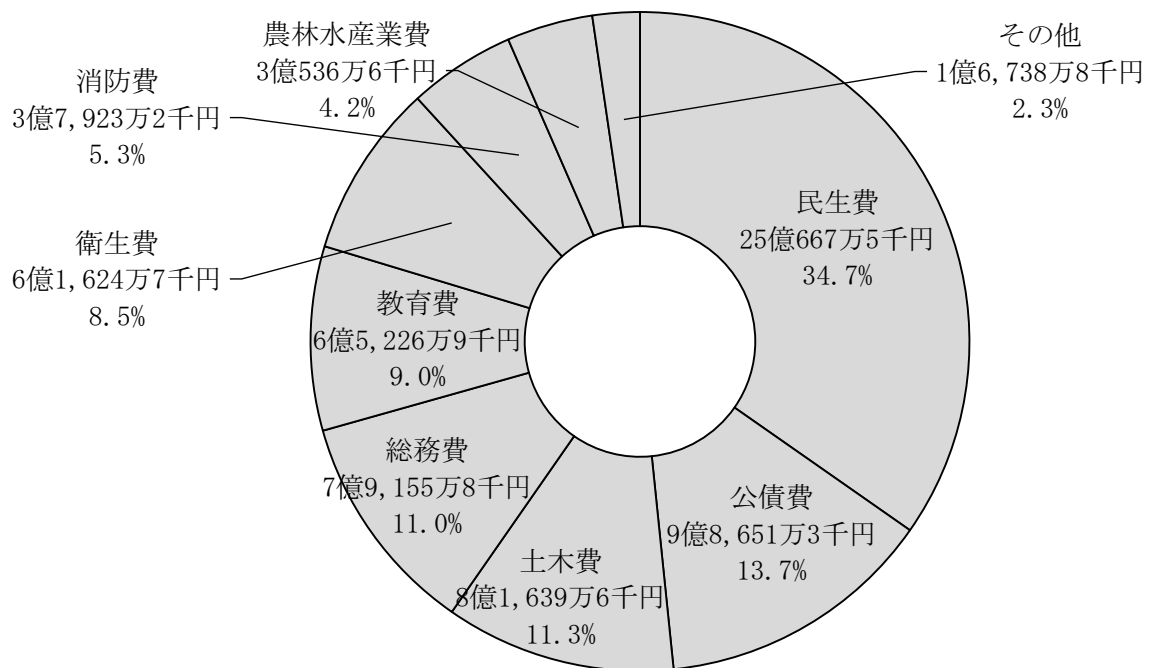
【その他依存財源の内訳】

地方譲与税 (8,826 万 4 千円、1.2%)、自動車取得税交付金 (2,746 万 7 千円、0.4%)、地方特例交付金 (2,656 万 8 千円、0.4%)、株式等譲渡所得割交付金 (1,207 万 6 千円、0.2%)、配当割交付金 (1,176 万 8 千円、0.2%) など

(2) 歳出
ア 款別

(単位：円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 議会費	98,492,569	1.4	101,614,637	1.4	△3,122,068	△3.1
2. 総務費	791,558,444	11.0	785,909,544	11.0	5,648,900	0.7
3. 民生費	2,506,674,789	34.7	2,727,303,321	37.9	△220,628,532	△8.1
4. 衛生費	616,246,941	8.5	610,594,229	8.5	5,652,712	0.9
5. 労働費	14,959,066	0.2	16,679,021	0.2	△1,719,955	△10.3
6. 農林水産業費	305,366,484	4.2	291,823,030	4.1	13,543,454	4.6
7. 商工費	53,915,545	0.7	33,271,931	0.5	20,643,614	62.0
8. 土木費	816,396,443	11.3	734,276,814	10.2	82,119,629	11.2
9. 消防費	379,231,238	5.3	306,927,447	4.3	72,303,791	23.6
10. 教育費	652,269,316	9.0	1,001,145,602	14.0	△348,876,286	△34.8
11. 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 公債費	986,513,308	13.7	566,501,415	7.9	420,011,893	74.1
13. 諸支出金	20,000	0.0	28,000	0.0	△8,000	△28.6
14. 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	7,221,644,143	100.0	7,176,074,991	100.0	45,569,152	0.6



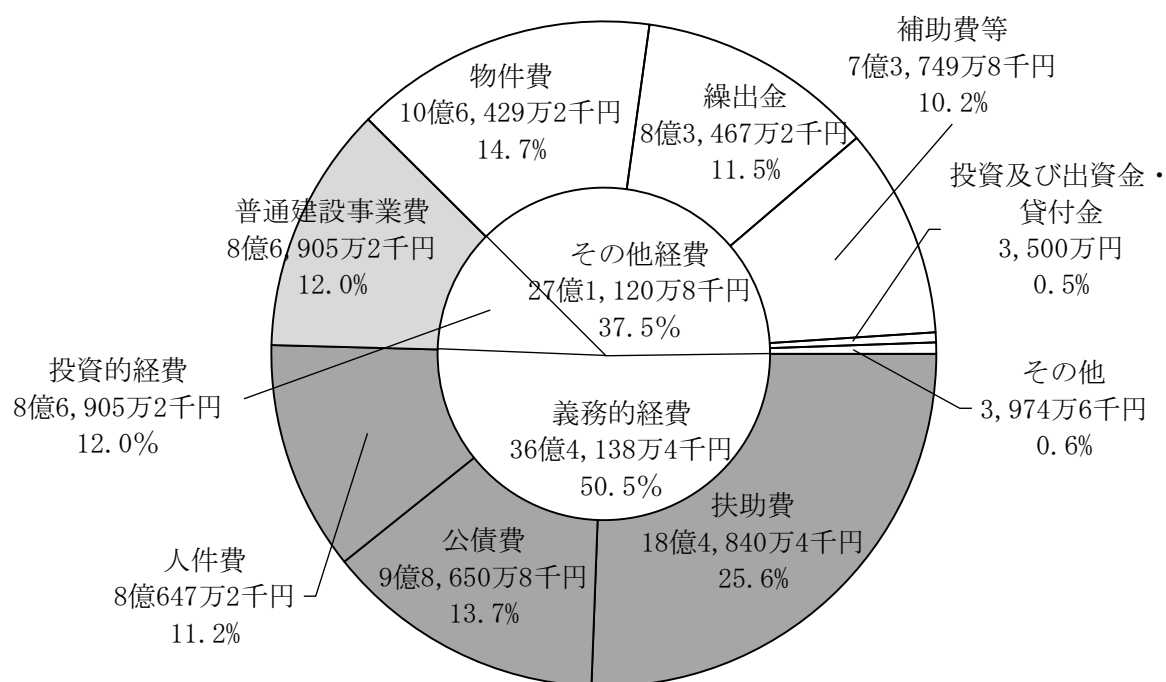
【その他の内訳】

議会費 (9,849 万 3 千円、1.4%)、商工費 (5,391 万 6 千円、0.7%)、労働費 (1,495 万 9 千円、0.2%)、諸支出金 (2 万円、0.0%)

イ 性質別

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	3,641,384	50.5	3,067,665	42.8	573,719	18.7
人件費	806,472	11.2	781,287	10.9	25,185	3.2
扶助費	1,848,404	25.6	1,719,877	24.0	128,527	7.5
公債費	986,508	13.7	566,501	7.9	420,007	74.1
投資的経費	869,052	12.0	1,374,145	19.1	△505,093	△36.8
普通建設事業費	869,052	12.0	1,374,145	19.1	△505,093	△36.8
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他経費	2,711,208	37.5	2,734,265	38.1	△23,057	△0.8
物件費	1,064,292	14.7	1,044,995	14.5	19,297	1.8
維持補修費	27,739	0.4	25,777	0.4	1,962	7.6
補助費等	737,498	10.2	768,954	10.7	△31,456	△4.1
積立金	12,007	0.2	30,511	0.4	△18,504	△60.6
投資及び出資金・貸付金	35,000	0.5	35,000	0.5	0	0.0
繰出金	834,672	11.5	829,028	11.6	5,644	0.7
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	7,221,644	100.0	7,176,075	100.0	45,569	0.6



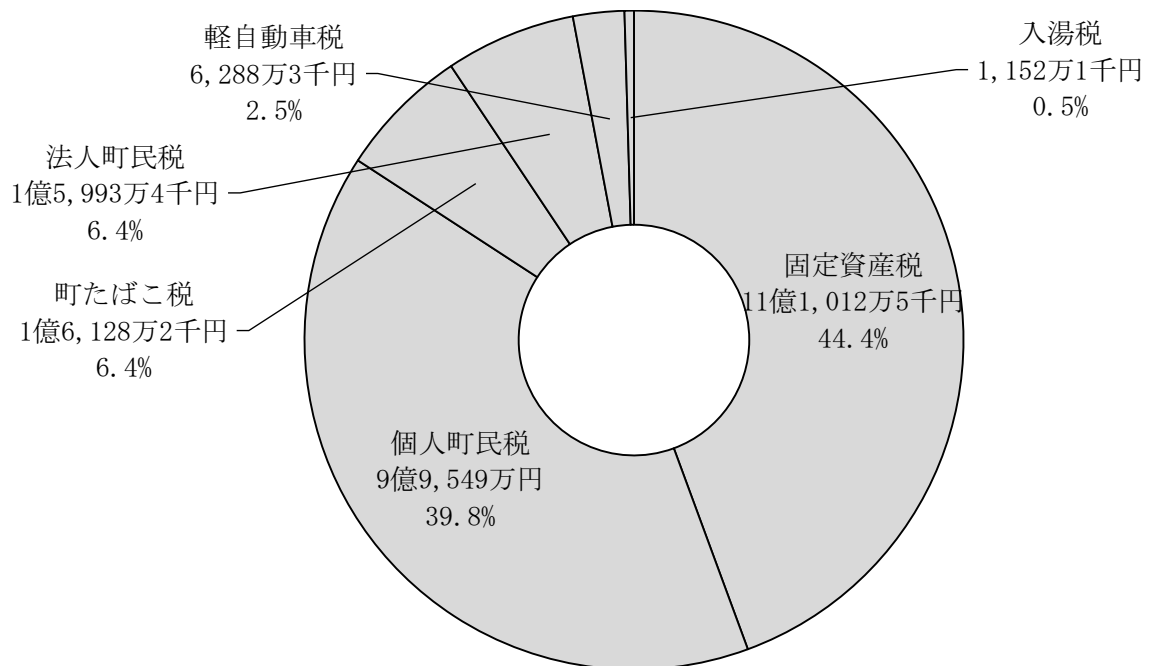
【その他の内訳】

維持補修費 (2,773 万 9 千円、0.4%)、積立金 (1,200 万 7 千円、0.2%)

(3) 町税
ア 決算額

(単位：円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	995,489,784	39.8	979,863,517	40.0	15,626,267	1.6
法人町民税	159,934,104	6.4	148,821,277	6.1	11,112,827	7.5
固定資産税	1,110,124,533	44.4	1,080,962,943	44.1	29,161,590	2.7
軽自動車税	62,883,209	2.5	60,755,824	2.5	2,127,385	3.5
町たばこ税	161,282,407	6.4	169,771,845	6.9	△ 8,489,438	△ 5.0
入湯税	11,520,510	0.5	11,366,100	0.4	154,410	1.4
計	2,501,234,547	100.0	2,451,541,506	100.0	49,693,041	2.0



イ 町民１人あたり決算額

平成２９年度・平成２８年度の決算額を、それぞれ平成３０年３月３１日現在・平成２９年３月３１日現在の人口で割ったものです。

(単位：円、％)

区 分	平成２９年度		平成２８年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	46,886	39.8	46,518	40.0	368	0.8
法人町民税	7,533	6.4	7,065	6.1	468	6.6
固定資産税	52,285	44.4	51,318	44.1	967	1.9
軽自動車税	2,962	2.5	2,884	2.5	78	2.7
町たばこ税	7,596	6.4	8,060	6.9	△464	△5.8
入湯税	543	0.5	540	0.4	3	0.6
計	117,805	100.0	116,385	100.0	1,420	1.2

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

ウ １世帯あたり決算額

平成２９年度・平成２８年度の決算額を、それぞれ平成３０年３月３１日現在・平成２９年３月３１日現在の世帯数で割ったものです。

(単位：円、％)

区 分	平成２９年度		平成２８年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	125,979	39.8	126,925	40.0	△946	△0.7
法人町民税	20,240	6.4	19,277	6.1	963	5.0
固定資産税	140,487	44.4	140,021	44.1	466	0.3
軽自動車税	7,958	2.5	7,870	2.5	88	1.1
町たばこ税	20,410	6.4	21,991	6.9	△1,581	△7.2
入湯税	1,458	0.5	1,472	0.4	△14	△1.0
計	316,532	100.0	317,557	100.0	△1,025	△0.3

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

2. 会計別決算

(単位：円、％)

区 分		平成 2 9 年度 決 算 額	平成 2 8 年度 決 算 額	比 較		
				増 減 額	増減率	
一 般 会 計		歳入	7,316,743,833	7,247,368,889	69,374,944	1.0
		歳出	7,221,644,143	7,176,074,991	45,569,152	0.6
		差引	95,099,690	71,293,898	23,805,792	33.4
		翌年繰越額	69,988,000	54,932,000	15,056,000	27.4
		実質収支	25,111,690	16,361,898	8,749,792	53.5
特 別 会 計	学校給食事業	歳入	114,071,026	113,981,202	89,824	0.1
		歳出	113,743,635	113,711,805	31,830	0.0
		差引	327,391	269,397	57,994	21.5
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	327,391	269,397	57,994	21.5
	公共下水道事業	歳入	380,537,589	345,308,489	35,229,100	10.2
		歳出	380,237,589	345,008,489	35,229,100	10.2
		差引	300,000	300,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	300,000	300,000	0	0.0
	国民健康保険 事業	歳入	2,131,895,556	2,298,106,997	△166,211,441	△7.2
		歳出	2,099,327,783	2,282,695,810	△183,368,027	△8.0
		差引	32,567,773	15,411,187	17,156,586	111.3
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	32,567,773	15,411,187	17,156,586	111.3
	農業集落排水 事業	歳入	164,420,165	151,956,585	12,463,580	8.2
		歳出	164,320,165	151,856,585	12,463,580	8.2
		差引	100,000	100,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	100,000	100,000	0	0.0

(単位：円、％)

区 分			平成 2 9 年度 決 算 額	平成 2 8 年度 決 算 額	比 較	
					増 減 額	増減率
特 別 会 計	住宅新築資金等 貸付事業	歳入	3,541,498	3,615,498	△74,000	△2.0
		歳出	3,541,498	3,615,498	△74,000	△2.0
		差引	0	0	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	0	0	0	0.0
	介護保険事業	歳入	1,369,017,353	1,352,560,558	16,456,795	1.2
		歳出	1,331,978,553	1,326,752,788	5,225,765	0.4
		差引	37,038,800	25,807,770	11,231,030	43.5
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	37,038,800	25,807,770	11,231,030	43.5
	後期高齢者医療 事業	歳入	179,372,323	166,778,001	12,594,322	7.6
		歳出	176,053,223	163,513,001	12,540,222	7.7
		差引	3,319,100	3,265,000	54,100	1.7
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	3,319,100	3,265,000	54,100	1.7
	計	歳入	4,342,855,510	4,432,307,330	△89,451,820	△2.0
		歳出	4,269,202,446	4,387,153,976	△117,951,530	△2.7
		差引	73,653,064	45,153,354	28,499,710	63.1
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	73,653,064	45,153,354	28,499,710	63.1
合 計		歳入	11,659,599,343	11,679,676,219	△20,076,876	△0.2
		歳出	11,490,846,589	11,563,228,967	△72,382,378	△0.6
		差引	168,752,754	116,447,252	52,305,502	44.9
		翌年繰越額	69,988,000	54,932,000	15,056,000	27.4
		実質収支	98,764,754	61,515,252	37,249,502	60.6

3. 財産の状況

(1) 年度末現在高

区 分	平成 2 9 年度末 現 在 高	平成 2 8 年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	1, 998, 154	1, 996, 341	1, 813	0. 1
建物 (㎡)	50, 326	50, 011	315	0. 6
基金 (円)	2, 801, 384, 000	3, 455, 826, 000	△654, 442, 000	△18. 9
出資金 (円)	140, 929, 316	140, 929, 316	0	0. 0
自動車 (台)	46	45	1	2. 2
消防自動車 (台)	6	6	0	0. 0

※ 道路及び橋梁は含みません。

(2) 年度末現在高 (町民 1 人あたり)

平成 2 9 年度末・平成 2 8 年度末の現在高を、それぞれ平成 3 0 年 3 月 3 1 日現在・平成 2 9 年 3 月 3 1 日現在の人口で割ったものです。

区 分	平成 2 9 年度末 現 在 高	平成 2 8 年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	94. 11	94. 78	△0. 67	△0. 7
建物 (㎡)	2. 37	2. 37	0. 00	0. 0
基金 (円)	131, 942	164, 063	△32, 121	△19. 6
出資金 (円)	6, 638	6, 691	△53	△0. 8

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 年度末現在高 (1 世帯あたり)

平成 2 9 年度末・平成 2 8 年度末の現在高を、それぞれ平成 3 0 年 3 月 3 1 日現在・平成 2 9 年 3 月 3 1 日現在の世帯数で割ったものです。

区 分	平成 2 9 年度末 現 在 高	平成 2 8 年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	252. 87	258. 59	△5. 72	△2. 2
建物 (㎡)	6. 37	6. 48	△0. 11	△1. 7
基金 (円)	354, 516	447, 646	△93, 130	△20. 8
出資金 (円)	17, 835	18, 255	△420	△2. 3

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 主な財産の増減内訳

	増 減 高	備 考
土 地 (㎡)	1,812.88	
ごみ集積所用地	15.88	開発に伴う寄附による増
八幡山グラウンド用地	1,872.00	用地買収による増
一般普通財産	△75.00	払下げによる減
建 物 (㎡)	314.61	
リバートピア吉岡源泉ポンプ制御室	7.83	新築による増
地域福祉交流拠点施設	△1.49	改築による減
文化財センター	308.27	新築による増
基 金 (円)	△654,442,000	
財政調整基金	△230,111,000	地方財政法第7条の規定による積立て +8,181,000 運用益の積立て +1,708,000 財源不足による取崩し △240,000,000
減債基金	△411,843,000	運用益の積立て +900,575 基金取崩しによる国債売却に伴う評価益 +3,776,425 臨時財政対策債繰上償還財源の取崩し △416,520,000
渇水対策施設維持管理基金	△8,420,000	運用益の積立て 105,000 渇水対策施設維持管理経費財源の取崩し △8,525,000
教育文化振興基金	△18,944,000	運用益の積立て +56,000 図書館図書購入費に対する寄附金の積立て +1,000,000 文化財センター新築事業財源の取崩し △17,000,000 吉岡中学校吹奏楽器修繕財源の取崩し △2,000,000 図書館図書購入財源の取崩し △1,000,000

		増 減 高	備 考
	地域福祉基金	△944, 000	運用益の積立て +56, 000 福祉車両購入財源の取崩し △1, 000, 000
	土地開発基金	20, 000	運用益の積立て +20, 000
	介護給付費準備基金	15, 800, 000	剰余金の積立て +15, 800, 000

- ※ 地方財政法第 7 条の規定による積立て：前年度決算剰余金の 2 分の 1 を積み立てるもの
- ※ 運用益の積立て：基金を運用する預金の利子等の運用益を積み立てるもの

(5) 基金残高

(単位：円)

区 分	平成 2 8 年度末 現 在 高	平成 2 9 年度中増減額		平成 2 9 年度末 現 在 高
		平成 2 9 年度中 積 立 等 額	平成 2 9 年度中 取 崩 額	
一 般 会 計	3,330,843,000	15,803,000	686,045,000	2,660,601,000
財政調整基金	2,622,098,000	9,889,000	240,000,000	2,391,987,000
減債基金	444,260,000	4,677,000	416,520,000	32,417,000
その他特定目的基金	244,227,000	1,217,000	29,525,000	215,919,000
湧水対策施設維持管理基金	120,990,000	105,000	8,525,000	112,570,000
教育文化振興基金	70,769,000	1,056,000	20,000,000	51,825,000
地域福祉基金	52,468,000	56,000	1,000,000	51,524,000
定額運用基金	20,258,000	20,000	0	20,278,000
土地開発基金	18,758,000	20,000	0	18,778,000
収入印紙等購買基金	1,500,000	0	0	1,500,000
国民健康保険事業特別会計	106,117,000	0	0	106,117,000
国民健康保険基金	106,117,000	0	0	106,117,000
介護保険事業特別会計	18,866,000	15,800,000	0	34,666,000
介護給付費準備基金	18,866,000	15,800,000	0	34,666,000
計	3,455,826,000	31,603,000	686,045,000	2,801,384,000

※ 財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための基金で、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積立てを行い、財源不足が生じる年度に活用するもの。

※ 減債基金：地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられる基金。

※ その他特定目的基金：財政調整基金、減債基金の目的以外の特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置される基金。

※ 定額運用基金：定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産。

※ 湧水対策施設維持管理基金：上越新幹線榛名トンネルの掘削に伴う湧水対策として整備された施設の維持管理費用に充てるため、JRからの補償金を原資として設置された基金。

※ 教育文化振興基金：教育及び文化の振興を図るための経費に充てるため設置された基金。

※ 地域福祉基金：高齢者の保健福祉の向上を図るための経費に充てるため設置された基金。

(6) 基金残高（町民１人あたり）

平成２８年度末現在高は、平成２８年度末の現在高を平成２９年３月３１日現在の人口で割ったものです。

平成２９年度中増減額、平成２９年度末現在高は、平成２９年度中の増減額、平成２９年度末の現在高を、それぞれ平成３０年３月３１日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成２８年度末 現 在 高	平成２９年度中増減額		平成２９年度末 現 在 高
		平成２９年度中 積 立 等 額	平成２９年度中 取 崩 額	
一 般 会 計	158,130	744	32,312	125,311
財政調整基金	124,482	466	11,304	112,660
減債基金	21,091	220	19,618	1,527
その他特定目的基金	11,595	57	1,391	10,170
渇水対策施設維持管理基金	5,744	5	402	5,302
教育文化振興基金	3,360	50	942	2,441
地域福祉基金	2,491	3	47	2,427
定額運用基金	962	1	0	955
土地開発基金	891	1	0	884
収入印紙等購買基金	71	0	0	71
国民健康保険事業特別会計	5,038	0	0	4,998
国民健康保険基金	5,038	0	0	4,998
介護保険事業特別会計	896	744	0	1,633
介護給付費準備基金	896	744	0	1,633
計	164,063	1,488	32,312	131,942

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(7) 基金残高（１世帯あたり）

平成２８年度末現在高は、平成２８年度末現在の基金残高を平成２９年３月３１日現在の世帯数で割ったものです。

平成２９年度中増減額・平成２９年度末現在高は、平成２９年度中の増減額・平成２９年度末現在の基金残高を、それぞれ平成３０年３月３１日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成２８年度末 現 在 高	平成２９年度中増減額		平成２９年度末 現 在 高
		平成２９年度中 積 立 等 額	平成２９年度中 取 崩 額	
一 般 会 計	431,456	2,000	86,819	336,700
財政調整基金	339,650	1,251	30,372	302,707
減債基金	57,547	592	52,711	4,102
その他特定目的基金	31,636	154	3,736	27,325
渇水対策施設維持管理基金	15,672	13	1,079	14,246
教育文化振興基金	9,167	134	2,531	6,558
地域福祉基金	6,796	7	127	6,520
定額運用基金	2,624	3	0	2,566
土地開発基金	2,430	3	0	2,376
収入印紙等購買基金	194	0	0	190
国民健康保険事業特別会計	13,746	0	0	13,429
国民健康保険基金	13,746	0	0	13,429
介護保険事業特別会計	2,444	1,999	0	4,387
介護給付費準備基金	2,444	1,999	0	4,387
計	447,646	3,999	86,819	354,516

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

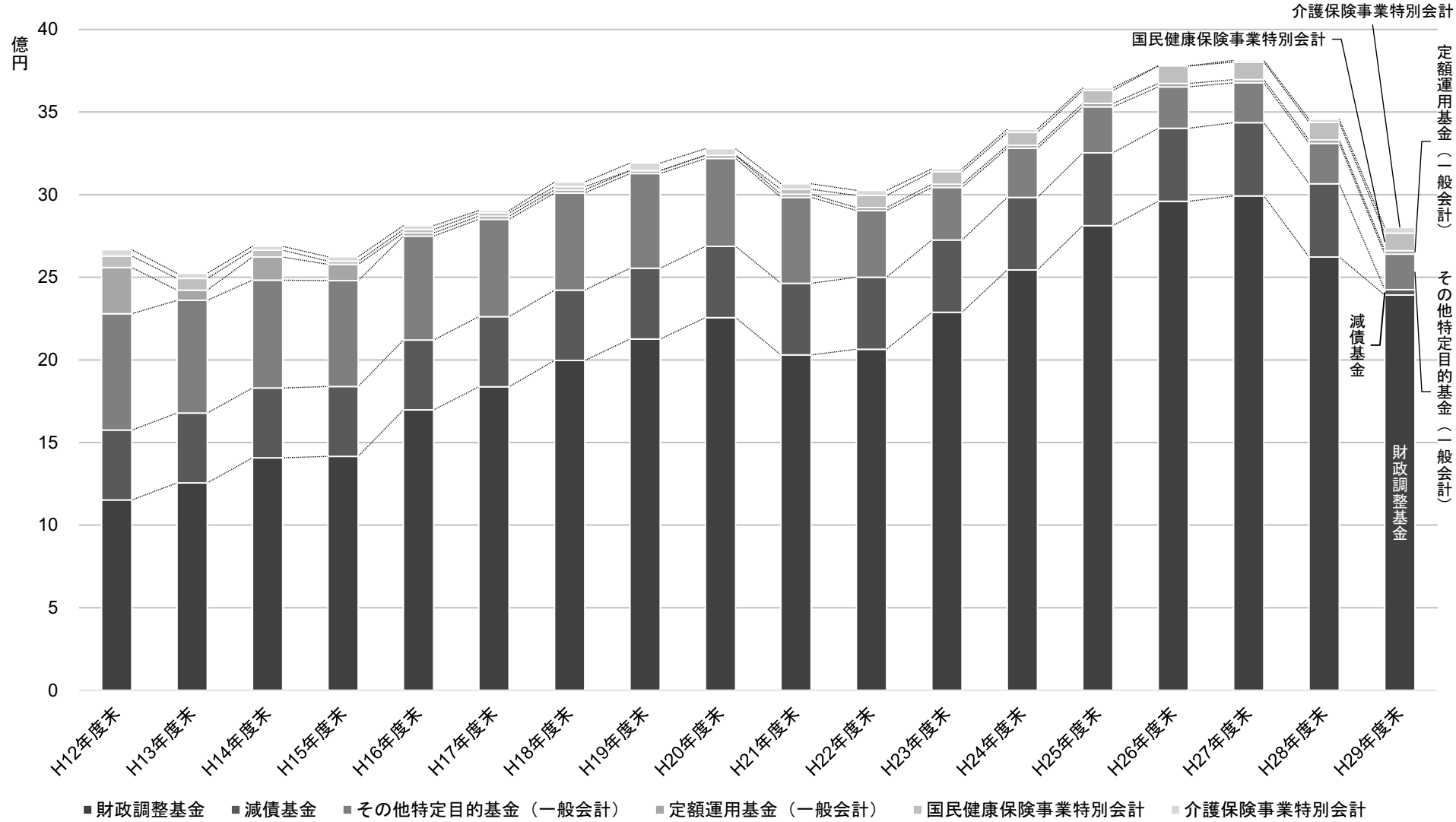
(8) 基金残高の推移

(単位：千円)

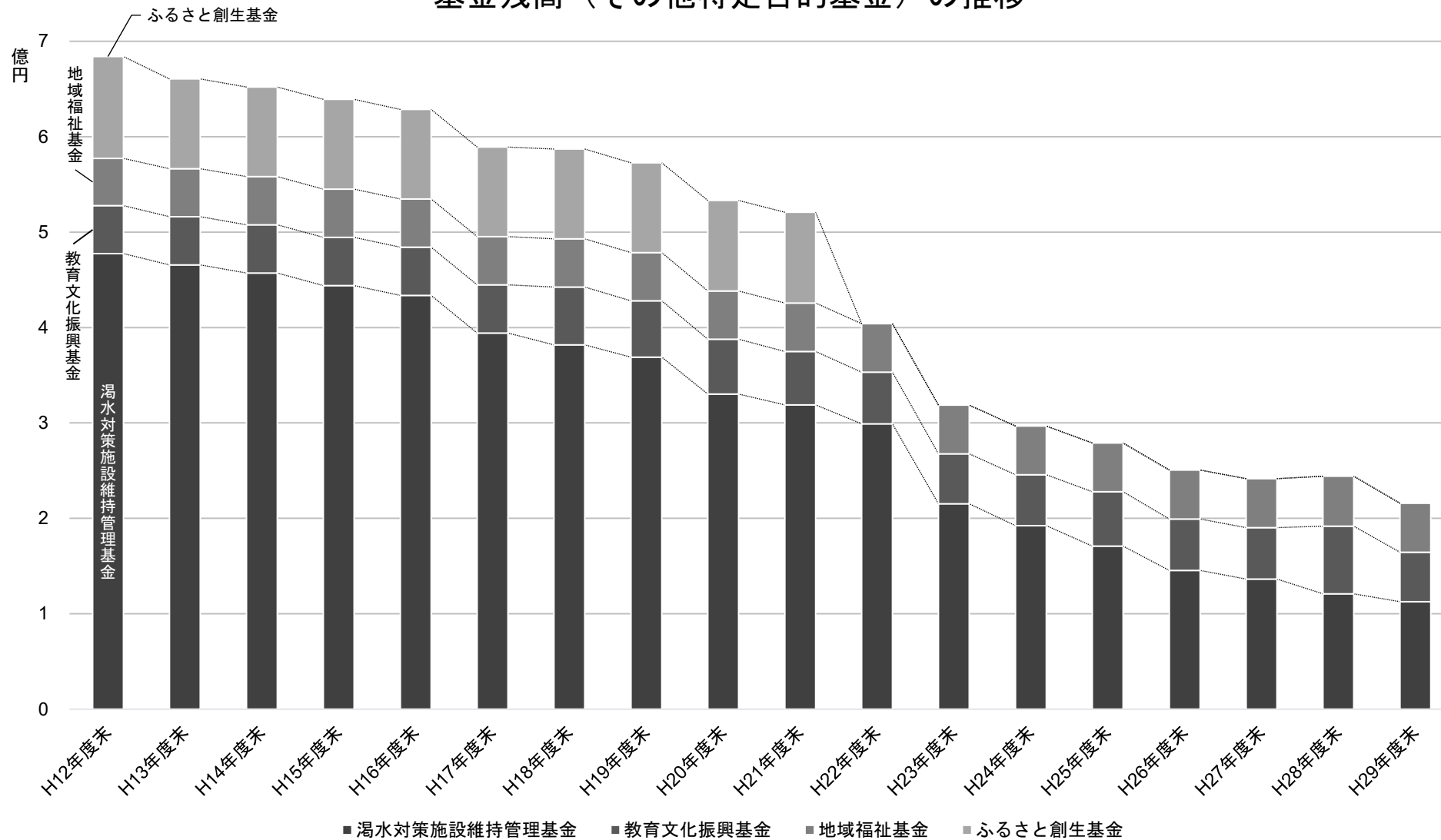
区 分	H20 年度末	H21 年度末	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末
一 般 会 計	3,238,132	3,002,166	2,922,089	3,062,785	3,299,386	3,552,420	3,672,533	3,697,001	3,330,843	2,660,601
財政調整基金	2,256,333	2,030,281	2,064,756	2,288,490	2,544,657	2,812,254	2,959,496	2,991,739	2,622,098	2,391,987
減債基金	430,282	432,592	434,900	437,122	439,358	440,984	442,248	443,467	444,260	32,417
その他特定目的基金	533,114	520,816	403,919	318,601	296,757	279,026	250,595	241,565	244,227	215,919
渇水対策施設維持管理基金	330,325	319,051	299,038	215,395	192,319	170,855	145,412	136,484	120,990	112,570
教育文化振興基金	57,514	55,864	54,090	52,253	53,369	56,986	53,892	53,691	70,769	51,825
地域福祉基金	50,488	50,690	50,791	50,953	51,069	51,185	51,291	51,390	52,468	51,524
ふるさと創生基金	94,787	95,211								
定額運用基金	18,403	18,477	18,514	18,572	18,614	20,156	20,194	20,230	20,258	20,278
土地開発基金	18,403	18,477	18,514	18,572	18,614	18,656	18,694	18,730	18,758	18,778
収入印紙等購買基金						1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国民健康保険事業特別会計	2	30,007	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117	106,117
国民健康保険基金	2	30,007	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117	106,117
介護保険事業特別会計	39,400	34,230	31,555	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866	34,666
介護給付費準備基金	31,224	31,224	31,323	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866	34,666
介護従事者処遇改善臨時特例基金	8,176	3,006	231							
計	3,277,534	3,066,403	3,026,613	3,155,668	3,396,728	3,646,045	3,778,650	3,812,691	3,455,826	2,801,384

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

基金残高の推移



基金残高（その他特定目的基金）の推移



4. 町債の状況

(1) 一般会計現在高

(単位：円)

区 分	平成 2 8 年度末 現 在 高	平成 2 9 年度中増減額		平成 2 9 年度末 現 在 高
		平成 2 9 年度中 起 債 額	平成 2 9 年度中 償 還 額	
1 建設地方債	1,684,477,119	84,800,000	225,441,308	1,543,835,811
(1) 総務債	6,200,000	0	1,240,000	4,960,000
地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業 [H28 (H27 繰越)]	6,200,000	0	1,240,000	4,960,000
(2) 民生債	0	10,900,000	0	10,900,000
地域福祉交流拠点施設整備事業債 [H29 (H28 繰越)]	0	10,900,000	0	10,900,000
(3) 衛生債	173,976,727	0	16,930,275	157,046,452
一般会計出資債 (上水道事業) [H5～H17]	153,697,550	0	11,518,602	142,178,948
保健センター建設事業 [H14]	20,279,177	0	5,411,673	14,867,504
(4) 農林水産業債	10,200,000	0	2,550,000	7,650,000
林道改良事業 [H22 (H21 繰越)]	10,200,000	0	2,550,000	7,650,000
(5) 土木債	823,181,254	55,700,000	153,558,072	725,323,182
臨時地方道整備事業 [H9～H18]	206,223,254	0	65,510,072	140,713,182
上野田公園整備事業 [H14～H17]	24,848,000	0	15,466,000	9,382,000
まちづくり交付金事業 [H17～H21]	509,010,000	0	72,582,000	436,428,000
南下城山防災公園整備事業 [H27～H29]	83,100,000	55,700,000	0	138,800,000

(単位：円)

区 分		平成 2 8 年度末 現 在 高	平成 2 9 年度中増減額		平成 2 9 年度末 現 在 高
			平成 2 9 年度中 起 債 額	平成 2 9 年度中 償 還 額	
	(6) 消防債	22,897,500	18,200,000	5,347,500	35,750,000
	群馬県衛星系等防災行政無線整備事業[H19]	2,137,500	0	2,137,500	0
	第 1 分団詰所建設事業[H24]	16,260,000	0	2,710,000	13,550,000
	消防団無線デジタル化事業[H27]	4,500,000	0	500,000	4,000,000
	防災無線デジタル化事業[H29]	0	18,200,000	0	18,200,000
	(7) 教育債	648,021,638	0	45,815,461	602,206,177
	駒寄小学校プール建設事業[H14]	20,558,974	0	4,955,756	15,603,218
	駒寄小学校校舎建設事業[H15]	221,227,489	0	16,583,283	204,644,206
	駒寄小学校校舎大規模改造事業[H16]	31,798,000	0	2,446,000	29,352,000
	明治小学校冷暖房改修事業[H17]	8,200,000	0	600,000	7,600,000
	吉岡中学校体育館改築事業[H22]	120,676,842	0	12,775,867	107,900,975
	明治小学校耐震改修事業[H23]	17,465,345	0	3,458,269	14,007,076
	吉岡中学校北校舎エレベーター設置事業[H25 (H24 繰越)]	19,210,000	0	2,740,000	16,470,000
	吉岡中学校南校舎防音改造事業[H25]	15,984,988	0	2,256,286	13,728,702
	社会体育館改修事業[H27]	78,000,000	0	0	78,000,000
	駒寄小学校トイレ改修事業[H28 (H27 繰越)]	30,400,000	0	0	30,400,000
	明治小学校校舎増築事業[H28]	84,500,000	0	0	84,500,000

(単位：円)

区 分	平成 2 8 年度末 現 在 高	平成 2 9 年度中増減額		平成 2 9 年度末 現 在 高
		平成 2 9 年度中 起 債 額	平成 2 9 年度中 償 還 額	
2 財源対策のための地方債	3, 239, 249, 721	282, 200, 000	715, 244, 612	2, 806, 205, 109
(1) 減税補てん債 [H10～H18]	77, 330, 890	0	15, 498, 448	61, 832, 442
(2) 臨時税収補てん債 [H9]	4, 256, 207	0	4, 256, 207	0
(3) 臨時財政対策債 [H13～H29]	3, 157, 662, 624	282, 200, 000	695, 489, 957	2, 744, 372, 667
計	4, 923, 726, 840	367, 000, 000	940, 685, 920	4, 350, 040, 920

(2) 会計別現在高

(単位：円)

区 分	平成 2 8 年度末 現 在 高	平成 2 9 年度中増減額		平成 2 9 年度末 現 在 高
		平成 2 9 年度中 起 債 額	平成 2 9 年度中 償 還 額	
一般会計	4,923,726,840	367,000,000	940,685,920	4,350,040,920
建設地方債	1,684,477,119	84,800,000	225,441,308	1,543,835,811
財源対策のための地方債	3,239,249,721	282,200,000	715,244,612	2,806,205,109
特別会計	2,835,222,361	71,500,000	234,198,068	2,672,524,293
公共下水道事業	1,761,486,099	64,300,000	165,643,439	1,660,142,660
農業集落排水事業	1,072,541,841	7,200,000	67,970,121	1,011,771,720
住宅新築資金等貸付事業	1,194,421	0	584,508	609,913
水道事業会計	1,220,228,607	0	77,481,141	1,142,747,466
計	8,979,177,808	438,500,000	1,252,365,129	8,165,312,679

※ 建設地方債：地方財政法で通常認められている地方債で、学校等の建物のほか、道路・橋りょう・公園等の建設事業のための借入金です。

※ 財源対策のための地方債：特別法等で財源不足を補うために特別に認められている地方債で、「臨時財政対策債」、「減税補てん債」、「臨時税収補てん債」が含まれます。

※ 臨時財政対策債：地方交付税が国の予算不足により満額交付されないため、財源不足額を補てんするために平成 1 3 年度から地方自治体で借り入れているもの。後年度の元利償還金（借入金返済金）は、地方交付税で 1 0 0 % 措置されます。

※ 減税補てん債：平成 6 年度～平成 1 8 年度の税制改正による地方税の減収額を補てんするために借り入れたもの。

※ 臨時税収補てん債：地方消費税の創設時に、導入初年度は通年分が収入できないため、その税収を補てんするために平成 9 年度に借り入れたもの。

(3) 会計別現在高（町民１人あたり）

平成２８年度末現在高は、平成２８年度末現在の町債残高を平成２９年３月３１日現在の人口で割ったものです。

平成２９年度中増減額・平成２９年度末現在高は、平成２９年度中増減額・平成２９年度末現在の町債残高を、それぞれ平成３０年３月３１日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成２８年度末 現 在 高	平成２９年度中増減額		平成２９年度末 現 在 高
		平成２９年度中 起 債 額	平成２９年度中 償 還 額	
一般会計	233,751	17,285	44,305	204,881
建設地方債	79,969	3,994	10,618	72,713
財源対策のための地方債	153,781	13,291	33,687	132,169
特別会計	134,600	3,368	11,030	125,872
公共下水道事業	83,625	3,028	7,802	78,191
農業集落排水事業	50,918	339	3,201	47,653
住宅新築資金等貸付事業	57	0	28	29
水道事業会計	57,930	0	3,649	53,822
計	426,281	20,653	58,985	384,576

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 会計別現在高（１世帯あたり）

平成２８年度末現在高は、平成２８年度末現在の町債残高を平成２９年３月３１日現在の世帯数で割ったものです。

平成２９年度中増減額・平成２９年度末現在高は、平成２９年度中増減額・平成２９年度末現在の町債残高を、それぞれ平成３０年３月３１日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成２８年度末 現 在 高	平成２９年度中増減額		平成２９年度末 現 在 高
		平成２９年度中 起 債 額	平成２９年度中 償 還 額	
一般会計	637,788	46,444	119,044	550,499
建設地方債	218,197	10,731	28,530	195,373
財源対策のための地方債	419,592	35,712	90,514	355,126
特別会計	367,257	9,048	29,638	338,209
公共下水道事業	228,172	8,137	20,962	210,091
農業集落排水事業	138,930	911	8,602	128,040
住宅新築資金等貸付事業	155	0	74	77
水道事業会計	158,061	0	9,805	144,615
計	1,163,106	55,492	158,487	1,033,322

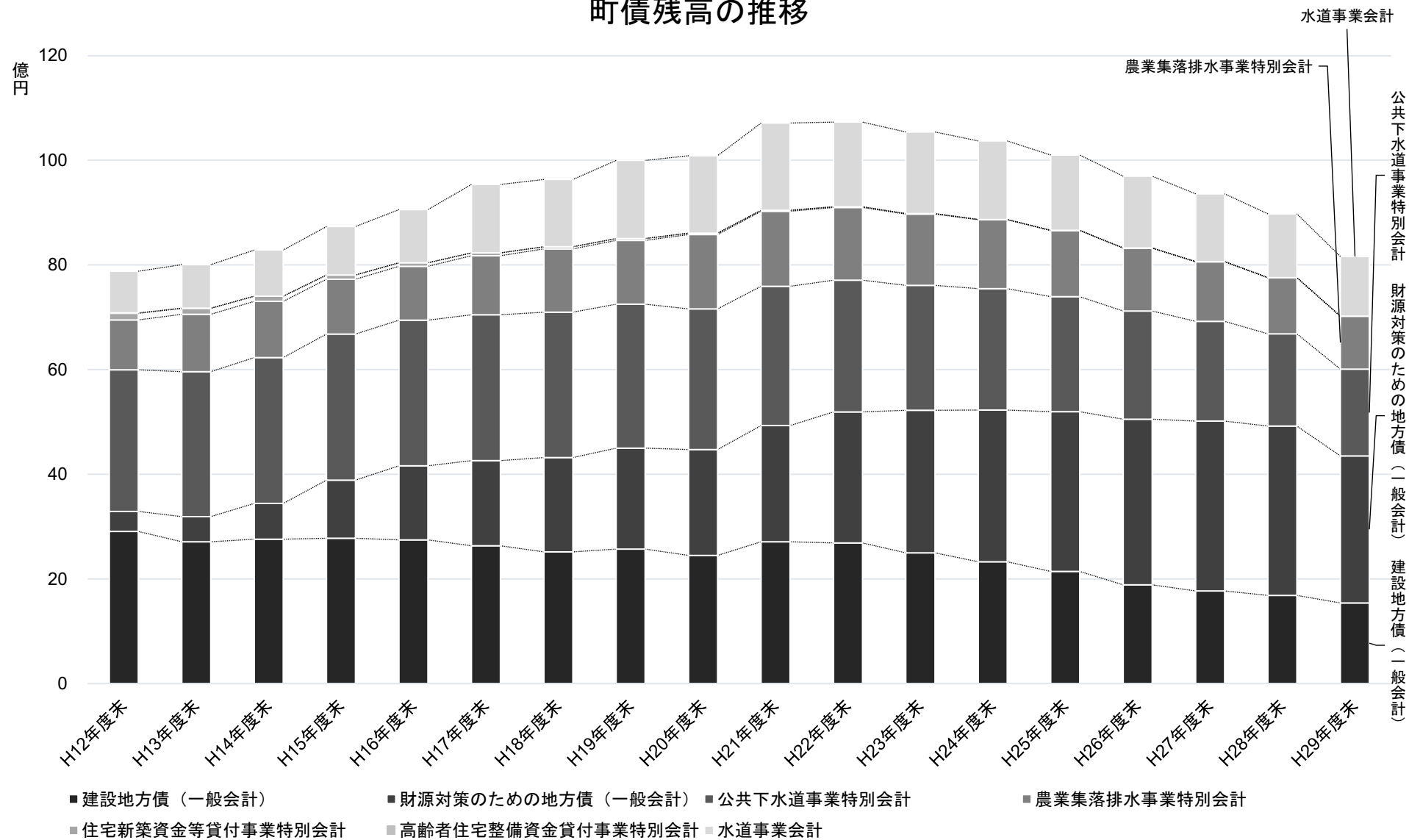
※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(5) 町債残高の推移

(単位：千円)

区 分	H20 年度末	H21 年度末	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末
一 般 会 計	4,473,173	4,931,534	5,190,931	5,224,769	5,229,477	5,196,334	5,053,281	5,014,888	4,923,727	4,350,041
建設地方債	2,447,973	2,712,887	2,686,285	2,501,629	2,330,591	2,143,503	1,889,494	1,773,330	1,684,478	1,543,836
減税補てん債	290,127	261,060	231,170	200,912	170,239	139,179	107,669	92,628	77,331	61,833
臨時税收補てん債	35,422	31,792	28,089	24,312	20,459	16,529	12,518	8,428	4,256	0
臨時財政対策債	1,699,651	1,925,795	2,245,387	2,497,916	2,708,188	2,897,123	3,043,600	3,140,502	3,157,662	2,744,372
特 別 会 計	4,134,174	4,113,672	3,920,776	3,755,524	3,641,514	3,467,388	3,273,460	3,047,766	2,835,222	2,672,525
公共下水道事業	2,688,780	2,663,014	2,518,652	2,383,764	2,318,913	2,197,018	2,065,946	1,906,484	1,761,486	1,660,143
農業集落排水事業	1,421,608	1,432,837	1,389,808	1,363,468	1,315,656	1,264,843	1,203,484	1,138,830	1,072,542	1,011,772
住宅新築資金等貸付事業	23,786	17,821	12,316	8,292	6,945	5,527	4,030	2,452	1,194	610
水道事業会計	1,482,264	1,667,088	1,616,838	1,559,760	1,501,095	1,436,759	1,369,423	1,295,593	1,220,229	1,142,747
計	10,089,611	10,712,294	10,728,545	10,540,053	10,372,086	10,100,481	9,696,164	9,358,247	8,979,178	8,165,313

町債残高の推移



(6) 公債費の推移

(単位：千円)

区 分	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
一 般 会 計	376,770	374,209	412,349	442,590	439,938	506,966	550,543	554,814	566,501	986,508
建設地方債	248,369	239,470	253,385	264,008	239,329	276,244	287,798	281,303	267,270	249,338
臨時財政特例債	3,857	241	241	174						
調整債	467	466	467	218						
減税補てん債	31,674	32,762	33,226	33,227	33,172	33,151	33,050	16,116	16,019	15,969
臨時税収補てん債	4,320	4,320	4,321	4,320	4,320	4,320	4,321	4,320	4,320	4,320
臨時財政対策債	88,083	96,950	120,709	140,643	163,117	193,251	225,374	253,075	278,892	716,881
うち繰上償還分										416,520
特 別 会 計	649,108	530,287	308,738	304,849	297,628	302,927	314,135	312,485	306,760	296,151
公共下水道事業	552,634	440,960	222,245	222,616	216,303	219,846	221,891	218,512	213,184	203,304
うち繰上償還分	327,800	216,500								
農業集落排水事業	74,419	77,463	76,729	77,637	79,570	81,326	90,489	92,218	92,219	92,218
住宅新築資金等貸付事業	22,055	11,864	9,764	4,596	1,755	1,755	1,755	1,755	1,357	629
計	1,025,878	904,496	721,087	747,439	737,566	809,893	864,678	867,299	873,261	1,282,659

公債費の推移

農業集落排水事業特別会計

公共下水道事業特別会計
財源対策のための地方債（一般会計）
建設地方債（一般会計）

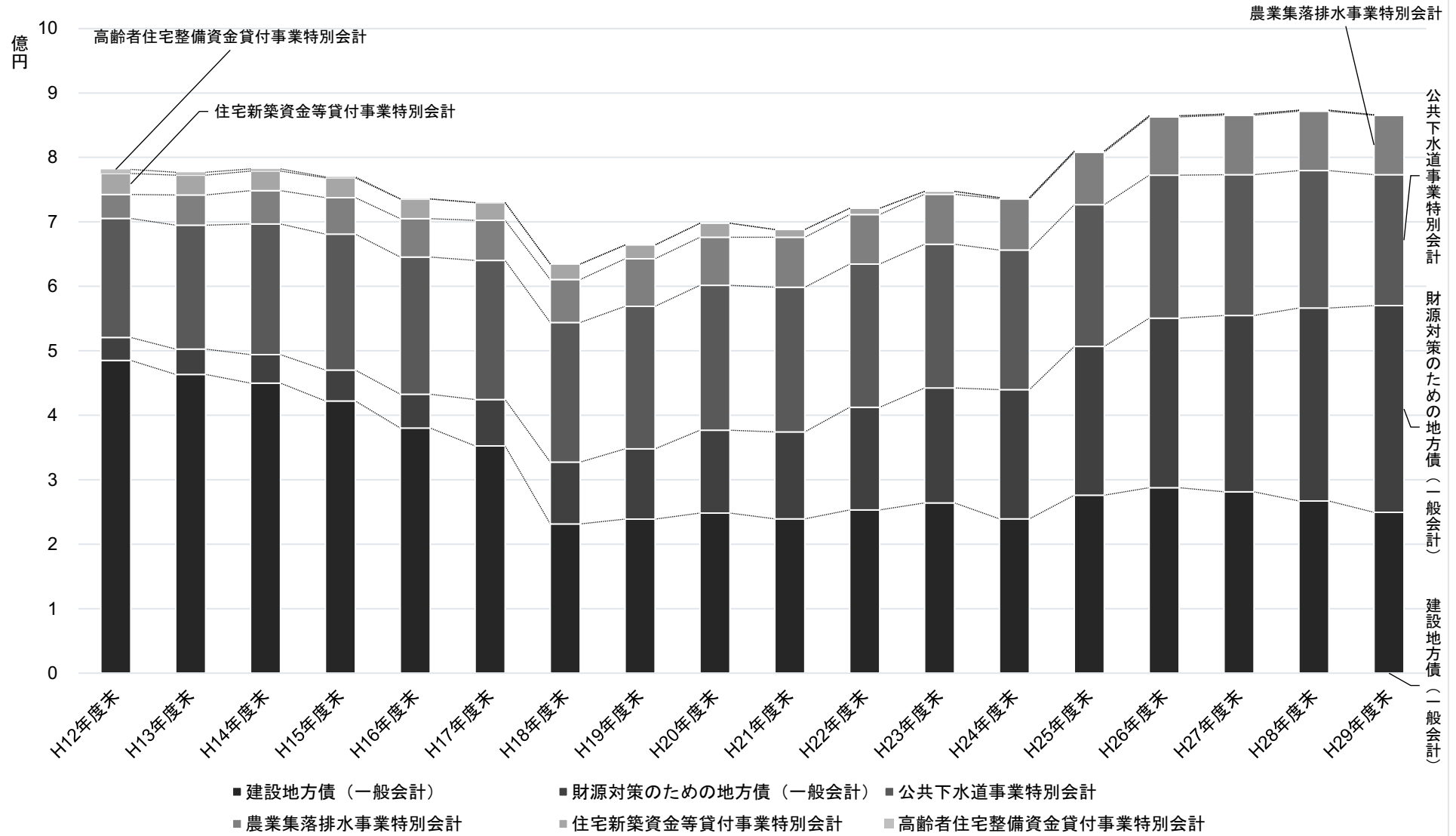
億
円

高齢者住宅整備資金貸付事業特別会計
住宅新築資金等貸付事業特別会計

H12年度末 H13年度末 H14年度末 H15年度末 H16年度末 H17年度末 H18年度末 H19年度末 H20年度末 H21年度末 H22年度末 H23年度末 H24年度末 H25年度末 H26年度末 H27年度末 H28年度末 H29年度末

- 建設地方債（一般会計）
- 財源対策のための地方債（一般会計）
- 公共下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 住宅新築資金等貸付事業特別会計
- 高齢者住宅整備資金貸付事業特別会計

公債費の推移（繰上償還除く）



5. 主要事業一覧表

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 一般管理費	継続	補助金等 審査委員会 152,788 (155 千円)	1 報酬 ・ 補助金等審査委員会委員 136,400	53 P	平成 26 年度補助金等審査委員会の答申で優先度の高い補助金等から複数年にわたって審査を行うことが提案された。 この答申内容を踏まえて、優先度の高い補助金等から 5 分割し、5 年で 1 サイクルとして平成 28 年度より毎年度、審査を行うことを決定した。 平成 29 年度委員会では、審査対象となった補助金等 17 件が平成 26 年度委員会の答申内容を反映しているかの検証を中心に行ったほか、6 件の新規の補助金等についても審査を行った。	総務政策課 (政策室)	町民行政
			8 報償費 ・ 補助金等審査委員会委員 12,000 謝礼	55 P			
			11 需用費 ・ 食糧費 (行政改革) 4,388				
			○ 一般財源 152,788	—			
	新規	事務事業棚卸 調査業務 1,436,400 (1,500 千円)	13 委託料 ・ 事務事業棚卸調査業務委託 1,436,400	55 P	町が真に地域や時代のニーズに合った行政サービスを効率的・効果的に展開していけるよう、各所属が実施している全ての事務事業、また当該事務事業に従事している職員数 (正規、嘱託、臨時を含む全職員の従事割合) 等を調査、整理し、今後の行財政運営、組織運営に係る課題の抽出を行った。	総務政策課 (政策室)	町民行政
			○ 一般財源 1,436,400	—			
	継続	自治会事務委託 37,557,600 (37,558 千円)	13 委託料 ・ 自治会事務委託料 37,557,600	55 P	広報誌、行政連絡文書の配布・回覧等を委託し、住民サービスの充実及び町政の能率的かつ円滑な運営が図られた。	町民生活課 (町民サービス室)	町民行政
			○ 一般財源 37,557,600	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 一般管理 費	継続	自治会活動 支援事業 10,824,750 (11,027 千円)	14 使用料及び賃借料 ・住民広場借地料 1,212,750	57 P	より良い地域づくりを目指すことを目的として自治会活動の全般にわたり助成を行った。 また、地域づくりの拠点となる集会施設の修理費用や維持管理の一部を助成し、地域住民の福祉の向上を図ったほか、地域づくり振興事業として「ふれあい交流会」「夏祭り」等の各自治会における自主的な取組による地域に根差した活動の支援をした。 集会施設等整備事業としては、小倉自治会の施設塗装工事、トイレ改修工事、北下自治会の床補修工事、寺下自治会のトイレ改修工事、エアコン設置工事、窓防塵対策工事、広場路床転圧・排水工事、駒寄自治会雨樋掛換工事、漆原東自治会の屋根補修工事の実績に対し補助金を交付した。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			19 負担金、補助及び交付金 ・自治会振興助成金 2,600,000 ・自治会連合会活動補助金 100,000 ・地域づくり振興事業補助金 1,283,000 ・集会施設地代助成事業補助金 120,000 ・集会施設等整備事業補助金 3,562,000 ・魅力あるコミュニティ助成事業助成金 1,347,000 ・集会施設維持管理における交付金 600,000				
			20 諸収入 ・魅力あるコミュニティ助成事業助成金 1,347,000	43 P			
			○ 一般財源 9,477,750	—			
5 財産管理 費	継続	節電対策事業 (グリーンカーテン等) 74,818 (75 千円)	11 需用費 ・消耗品費 (施設管理費) 74,818	59 P	電気使用量を抑制するため、グリーンカーテンの設置による庁内冷房運転時間の短縮及び庁内蛍光灯節電の励行などを実施。これら節電対策により夏季(6月から10月)の電気使用量は H22 年度比 18.9% 減少した。 (H22:101,566kwh→H29:82,350kwh)	財務課 (財政室)	町民 行政
			○ 一般財源 74,818	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
5 財産管理 費	新規	役場西駐車場 整備事業 18,892,600 (20,504 千円)	13 委託料 ・ 役場西駐車場整備工事測 量設計業務委託 486,000	61 P	役場西駐車場を西側に 2,314 m ² (普通乗用車 7 2 台分) 拡張し、イベント時等の駐車場不足を解消す るとともに、来庁者の利便性の向上を図った。	財務課 (財政室)	町民 行政
			14 使用料及び賃借料 ・ 駐車場借地料 478,600				
			15 工事請負費 ・ 役場西駐車場整備工事 17,928,000				
			○ 一般財源 18,892,600				
				—			
6 企画費	新規	男女共同参画事業 1,966,241 (2,173 千円)	8 報償費 ・ 男女共同参画推進委員謝 礼 123,200	63 P	男女共同参画社会の実現に向け、今年度は推進協 議会を立ち上げ、住民 3, 0 0 0 人を対象とした意 識調査を実施し、平成 3 0 年度、男女共同参画基本 計画を策定するための基礎資料を作成した。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			11 需用費 ・ 消耗品費 (男女共同参 画) 9,927				
			12 役務費 ・ 郵便料 (男女共同参画) 364,314				
			13 委託料 ・ 男女共同参画計画調査業 務委託料 1,468,800				
			○ 一般財源 1,966,241	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
6 企画費	新規	ふるさと納税 推進事業 3,783,989 (4,970 千円)	11 需用費 ・ 消耗品費 (ふるさと納税) 85,070	63 P	ふるさと納税事務全般を、全国でサイトを運営している業者に業務委託することで、寄附者の利便性を高めるとともに、インターネットによる申込みや商工会と連携し新たな返礼品の充実を図り、自主財源の確保を図った。	財務課 (財政室)	町民 行政
			・ 返礼品 (ふるさと納税) 2,203,268				
			12 役務費 ・ 郵便料 (ふるさと納税) 88,826				
			・ 返礼品配送料 (ふるさと納税) 554,360				
			・ 公金決済手数料 (ふるさと納税) 97,554				
			13 委託料 ・ ふるさと納税業務委託 706,311				
			14 使用料及び賃借料 ・ ふるさとチョイス利用料 (ふるさと納税) 48,600	65 P			
	継続	イメージアップ 事業 58,538 (156 千円) 総合戦略	○ 一般財源 3,783,989	—			
			8 報償費 ・ 謝礼 (企画費) 13,200	63 P	総合戦略事業及び第5次総合計画のよしおか再発見プロジェクトの一環として、2回目となるフォトコンテストを開催、町の魅力を再発見するとともに、町の魅力を広く内外に発信した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			・ イメージアップ事業記念品 (企画費) 45,338				
	新規	居住地としての 町の魅力 調査分析業務委託 (大学連携事業) 300,000 (300 千円) 総合戦略	○ 一般財源 58,538	—			
			13 委託料 ・ 居住地としての町の魅力 調査分析業務委託 (大学 連携事業) 300,000	63 P	高崎経済大学に業務委託して、群馬県パーソントリップ調査結果等を活用し、住民の居住実態と移動手段の可視化による現況分析を行うことで、吉岡町の地域の実態を適切に把握し、今後の政策の企画・立案に資することを目的に行った。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			○ 一般財源 300,000	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
6 企画費	新規	公共交通 利用促進事業 249,804 (250 千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費 (交通対策事業用) 249,804	63 P	公共交通の利便性向上を図るため、路線バスの停留所マップや活用方法等が掲載された公共交通の利用促進パンフレットを作成・配布し、既存の公共交通網のポテンシャルを最大限発揮し、地域の財産として有効活用していくきっかけづくりとした。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			○ 一般財源 249,804	—			
	継続	相乗り推奨 タクシー 実証実験 215,401 (310 千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費 (交通対策事業用) 98,280	63 P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより、タクシーを活用した外出機会の創出を図り、もって日常生活の利便性の向上に資することを目的とする実証実験を平成29年度も継続して実施した。 申請者数は58人(実26人)、利用者数は43人(実17人)、また利用回数は229回で運行回数とすると179回となり、内訳は単独乗車129回、相乗乗車50回(相乗率27.9%)の結果であった。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			12 役務費 ・郵便料 (交通対策事業用) 2,621				
			13 委託料 ・公共交通実証実験業務委託 114,500				
			○ 一般財源 215,401				
	新規	図柄入りナンバー 導入推進事業 101,724 (140 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・図柄入りナンバー導入推進事業負担金 101,724	65 P	平成26年11月に、前橋・吉岡地域の知名度の向上、情報発信力の強化、地域振興、連携した地域の繋がり醸成等を図ることを目的として前橋ナンバーが導入された。 平成30年度の地方版図柄入りナンバープレートの導入にあたり、これらの目的をより深化させるため、新たな選択肢として、図柄入りのナンバープレートの導入について取組みを進めた。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			○ 一般財源 101,724	—			
	継続	高校生等 通学支援事業 208,000 (500 千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・高校生等通学支援事業補助金 208,000	65 P	公共交通の利用促進と高校生等を持つ世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期に対する補助事業を実施した。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			○ 一般財源 208,000	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
6 企画費	継続	ふるさと祭り 7,612,156 (7,615 千円)	11 需用費	63 P	誰もが気軽に参加でき、楽しみながら親交を深め 合い、明るく心豊かな町づくりに寄与することを目的とし、10月8日（日）に役場北駐車場にてふるさと祭りを実施した。 当日は友好都市協定を締結した北海道大樹町の特設ブースを設けたほか、各自治会による発表などが行われ、概ね7,200人が来場した。	町民生活課 (生活環境室)	町民行政
			・消耗品費（イベント用） 1,210,017				
			・食糧費（イベント用） 707,725				
			・印刷製本費（イベント用） 158,112				
			12 役務費	65 P			
			・クリーニング代（イベント用） 39,038				
			・各種保険料（イベント用） 371,080				
			13 委託料	43 P			
			・業務委託料（イベント用） 2,047,984				
			14 使用料及び賃借料				
・文化センター使用料（イベント用） 21,000							
・借上料（イベント用） 2,797,200							
19 負担金、補助及び交付金	—						
・ふるさと祭り交付金 260,000							
20 諸収入	—						
・オータムジャンボ宝くじ市町村交付金 3,353,000							
○ 一般財源 4,259,156	—						

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳（款の区分ごと）					
8 諸費	継続	放課後児童 見守りパトロール 2,260,500 (2,309 千円) 総合戦略	13 委託料 ・放課後児童見守りパトロール委託料 2,260,500	65 P	子育て世代の女性が安心して育児に取り組める環境の整備を目的として、放課後児童見守りパトロールを実施した。 見守りパトロールの内容は、公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分のパトロールを240日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
			○ 一般財源 2,260,500	—				
	継続	防犯カメラ 設置事業 2,728,382 (3,098 千円) 総合戦略	11 需用費 ・防犯カメラ電気料 41,742 ・防犯カメラ修繕料 5,400	65 P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カメラを8台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
			15 工事請負費 ・防犯カメラ設置工事 2,681,240	67 P				
			○ 一般財源 2,728,382	—				
	継続	防犯事業 3,612,924 (3,629 千円)	11 需用費 ・防犯用事務・事業用品 104,464	65 P	防犯委員会による啓発活動や、LED防犯灯（24灯）を設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
			12 役務費 ・防犯活動保険料 9,100					
			14 使用料及び賃借料 ・防犯灯リース料 2,099,772	67 P				
			15 工事請負費 ・防犯灯設置工事 774,588					
			19 負担金、補助及び交付金 ・渋川地区広域暴力排除推進協議会負担金 54,000 ・各種負担金 45,000 ・県防犯連渋川支部会費 426,000 ・防犯委員会補助金 100,000					
			○ 一般財源 3,612,924					—

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
10 交通対策費	継続	道路交通安全施設整備事業 5,994,780 (6,000 千円)	15 工事請負費 ・ 道路交通安全施設工事 5,994,780	67 P	道路反射鏡（18箇所）、区画線（2,618.4m）、警戒標識等（2箇所）などを整備し、交通安全の向上を図った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			11 交通安全対策特別交付金 ・ 交通安全対策特別交付金 3,652,000	19 P			
			○ 一般財源 2,342,780	—			
11 コミュニティセンター供用施設費	新規	コミュニティセンタートイレ改修工事 982,800 (983 千円)	15 工事請負費 ・ コミセン内外整備工事 982,800	69 P	コミュニティセンターの個室トイレは、男女合わせて8基の全てが和式であるため、そのうちの4基を洋式へ改修し、利便性・快適性の向上を図った。	財務課 (財政室)	安全 便利
			○ 一般財源 982,800	—			
12 電子計算費	継続	ネットワーク強靱化事業 7,970,400 (8,140 千円)	14 使用料及び賃借料 ・ ネットワーク強靱化リース料 7,970,400	69 P	インターネットに存在する様々な脅威から個人情報等を守るため、マイナンバーの情報連携に用いられるL G W A N（総合行政ネットワーク）とインターネットを分離し、現在職員が利用している事務用パソコンをL G W A Nにのみ接続できるように設定を行った。 インターネットの利用については、情報収集及び民間事業者とのメールのやり取りを行う専用端末を導入した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			○ 一般財源 7,970,400	—			
		新規	群馬自治体情報セキュリティクラウド事業 3,116,203 (3,462 千円)	12 役務費 ・ 通信回線電話料 340,200	69 P	ネットワーク強靱化事業の一環として、県内全自治体に参加し、インターネットの出入口を県単位で一本化することで、セキュリティレベルの向上を図った。 また、インターネット経由で送付されたファイルを無害化し、L G W A N側で受け取るサービスも併せて導入した。	総務政策課 (政策室)
13 委託料 ・ 機器設定変更委託料 1,023,840 ・ 導入作業費 432,000							
14 使用料及び賃借料 ・ システム使用料 816,480							
19 負担金、補助及び交付金 ・ 群馬自治体情報セキュリティクラウド運用負担金 503,683	71 P						
○ 一般財源 3,116,203	—						

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
14 温泉事業 費	継続	吉岡町緑地運動 公園及びリバー ピア吉岡管理業務 31,115,792 (32,371 千円)	11 需用費	71 P	○主な経費 ・印刷製本費 (温泉招待券) : 197,120 円 ・修繕料 (温泉施設用) : 338,040 円 ・緑地運動公園及びリバーピア吉岡指定管理料 : 18,900,000 円 ・リバーピア吉岡源泉ポンプ用制御盤他改修工 事 : 6,804,000 円 ・リバーピア吉岡源泉井戸内部緊急スケール除去 作業 : 727,920 円 ・リバーピア吉岡源泉ポンプ入替工事 : 907,200 円 ・リバーピア吉岡浄化槽修繕工事 : 347,112 円 ・リバーピア吉岡予備用源泉ポンプ購入 : 2,894,400 円	財務課 (財政室)	町民 行政
			・印刷製本費 197,120				
			・修繕料 (温泉施設用) 338,040				
			13 委託料				
			・緑地運動公園及びリバー トピア吉岡指定管理料 18,900,000				
			15 工事請負費				
			・温泉施設改修工事 8,786,232				
			18 備品購入費	—			
			・予備用源泉ポンプ 2,894,400				
			○ 一般財源 31,115,792				

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）					
2 衆議院議員選挙費	新規	衆議院議員 選挙事務 12,942,188 (12,951 千円)	1 報酬		75 P	衆議院議員総選挙に係る選挙事務 【実績】 (小選挙区) 選挙人名簿登録者数 16,859 人 当日有権者数 16,813 人 投票者数 8,963 人 投票率 53.31% (比例代表) 選挙人名簿登録者数 16,859 人 当日有権者数 16,813 人 投票者数 8,962 人 投票率 53.30% (国民審査) 選挙人名簿登録者数 16,851 人 当日有権者数 16,805 人 投票者数 8,936 人 投票率 53.17% 自書式投票用紙読取分類機を導入したことにより、開票時間を短縮することができた。	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			・投票管理者	178,500				
			・開票管理者	10,600				
			・開票立会人	61,600				
			・投票立会人	389,800				
			3 職員手当等					
			・投開票事務従事者手当等	3,922,080				
			8 報償費					
			・ポスター掲示場設置謝礼	42,028				
			11 需用費					
			・選挙用事務用品	214,088				
			・食糧費	244,190				
			・印刷製本費	204,540				
			・修繕料	561,384				
			12 役務費		77 P			
			・郵便料	479,529				
			・臨時電話料	79,765				
13 委託料								
・ポスター掲示場設置撤去業務委託	424,764							
・投開票施設設置撤去業務委託	702,000							
・選挙事務電算業務委託	895,320							
14 使用料及び賃借料		35 P						
・投票所借上料	50,000							
18 備品購入費								
・選挙用備品	4,482,000	—						
15 県支出金								
・衆議院議員選挙費	11,039,468							
○ 一般財源	1,902,720							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
4 老人福祉費	継続	ねたきり老人 介護慰労金事業 3,810,000 (5,000 千円)	20 扶助費 ・ 介護慰労金 3,810,000	85 P	在宅で介護している介護者の労をねぎらうため、 年 1 回支給する。 【実績】 要介護 1・2 20,000 円 64 名 要介護 3 40,000 円 22 名 要介護 4 100,000 円 9 名 要介護 5 150,000 円 5 名	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			15 県支出金 ・ 新・介護慰労金支給事業 60,000 費補助金 (県単)	31 P			
			○ 一般財源 3,750,000	—			
	継続	敬老祝金品 支給事業 6,966,831 (7,711 千円)	8 報償費 ・ 敬老の日祝い品 801,345	83 P	敬老の意を表するため、祝金を年一回支給する。 【実績】 80・85 歳 10,000 円 236 名 88・90・95・101 歳以上 20,000 円と祝品 164 名 100 歳 50,000 円と祝品 9 名	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			11 需用費 ・ 消耗品費 33,366 ・ 食糧費 42,120				
			20 扶助費 ・ 敬老年金 6,090,000	85 P			
			○ 一般財源 6,966,831	—			
	継続	介護保険事業 特別会計繰出金 183,302,100 (197,242 千円)	28 繰出金 ・ 介護保険事業特別会計繰出金 183,302,100	85 P	介護保険事業特別会計への繰出金	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			14 国庫支出金 ・ 低所得者介護保険料軽減負担金 (現年度分) 847,800	23 P			
			15 県支出金 ・ 低所得者介護保険料軽減負担金 (現年度分) 434,700	29 P			
			○ 一般財源 182,019,600	—			

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
4 老人福祉 費	新規	地域福祉交流拠点 施設設置事業 28,112,357 (29,911 千円)	11 需用費	83 P	町が取得した住宅（空家）を改修し、地域の誰もが 気軽に利用可能な地域福祉交流拠点施設として、認 知症カフェを始めとした様々な事業を展開すること により地域コミュニティの再生を図り、地域から疎 遠となり本町を転出してしまう高齢者等の定住を促 進する。 吉岡町社会福祉協議会のサポートのもと、ボラン ティアが主体となった運営を行い、関係機関と連携 し、地域の福祉拠点としての機能を充実させるとと もに、ボランティアの育成を図る。 【実績】 よしおかROBAROBA（認知症カフェ） 実施回数 15回 延べ利用者数 597人 延べボランティア数 88人	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			・消耗品費 65,834				
			・電気料（地域福祉交流拠 点施設） 35,546				
			・水道料（地域福祉交流拠 点施設） 4,320				
			13 委託料				
			・地域福祉交流拠点施設設 置工事監理業務委託料 （繰越明許） 496,800				
			・地域福祉交流拠点施設設 置工事変更設計委託料 226,800				
			15 工事請負費	25 P			
			・地域福祉交流拠点施設設 置工事（繰越明許） 26,427,600				
			18 備品購入費				
・地域福祉交流拠点施設用 備品（繰越明許） 855,457	47 P						
14 国庫支出金							
・地方創生拠点整備交付金 10,903,856 （繰越明許）							
21 町債	—						
・一般補助施設整備等事業 債（地域福祉交流拠点施 設設置事業）（繰越明許） 10,900,000							
○ 一般財源 6,308,501							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳（款の区分ごと）					
6 障害者福祉費	継続	障害者自立 支援事業 266,439,438 (284,516 千円)	8 報償費 ・計画策定協議会委員謝礼 101,200	85 P	障害を抱える方の日常生活及び社会生活を支えるため、障害福祉サービス費、補装具費、障害者医療費等の支給を行う。 【障害福祉サービス等事業実績（延件数）】 ・居宅介護（278 件） ・同行援護（69 件） ・療養介護（36 件） ・生活介護（389 件） ・短期入所（101 件） ・施設入所支援（262 件） ・共同生活援助（167 件） ・宿泊型自立訓練（39 件） ・自立訓練（20 件） ・就労移行支援（63 件） ・就労継続支援（464 件） ・サービス利用計画等（262 件） ・地域相談支援（22 件） 【補装具事業実績（延件数）】 ・補装具（27 件） 【障害者医療費事業実績（実件数）】 ・更生医療（3 件） ・育成医療（4 件） ・療養介護医療（3 件）	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉	
			11 需用費 ・消耗品費 15,940 ・食料費 3,250 ・印刷製本費 40,500					
			12 役務費 ・計画アンケート郵送料 155,366 ・自立支援医療費支払手数料 9,875 ・障害福祉サービス費支払手数料 367,050 ・療養介護医療費支払手数料 1,620 ・育成医療審査手数料 3,240					
			13 委託料 ・吉岡町障害者計画・障害福祉計画策定委託料 3,207,600 ・障害福祉システム改修 1,674,000					
			19 負担金、補助及び交付金 ・居宅介護 20,366,716 ・療養介護 9,326,180 ・生活介護 76,975,582 ・短期入所 6,389,472 ・施設入所支援 29,654,838 ・同行援護 3,379,885 ・自立訓練 2,577,333 ・就労移行支援 10,420,913 ・就労継続支援 57,415,318 ・共同生活援助 16,726,947 ・宿泊型自立訓練 4,369,810 ・計画相談支援費 4,387,380 ・地域定着支援費 66,818	87 P				
			20 扶助費 ・障害福祉サービス利用給付金 203,998 ・更生医療給付 5,590,301 ・育成医療給付 330,956 ・補装具交付 2,721,095 ・補装具修理 474,078 ・療養介護医療費 2,125,045 ・高額障害福祉サービス費等給付費 12,005					
			23 償還金、利子及び割引料 ・返納金 7,345,127					
			14 国庫支出金 ・障害者自立支援給付費国庫負担金 129,265,800 ・障害者医療費国庫負担金 6,285,000					23 P
			15 県支出金 ・障害者自立支援給付費県負担金 64,632,900 ・障害者医療費県負担金 3,142,500 ・障害福祉サービス利用給付事業補助金 152,000	29 P				
			○ 一般財源 62,961,238					31 P

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
6 障害者福祉費	継続	障害児支援事業 84,548,776 (94,043 千円)	19 負担金、補助及び交付金		児童発達支援、放課後等デイサービス利用者に対し、障害児通所支援費の支給を行う。 また、支援費の受給者に対し、どのようにサービスを利用していくかの計画作成を行い、定期的にモニタリングを行う相談支援費を支給する。 ・児童発達支援給付 延 89 人 ・放課後等デイサービス 延 443 人 ・高額障害児通所給付 延 3 人 ・障害児相談支援給付 延 122 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・障害児通所支援 67,032,051	87 P			
			・障害児相談支援 2,139,624				
			20 扶助費				
			・高額障害児（通所・入所）給付費 4,503	89 P			
			23 償還金、利子及び割引料				
			・返納金 15,372,598				
			14 国庫支出金				
・障害児支援費国庫負担金 39,335,000	23 P						
15 県支出金							
・障害児支援費県負担金 19,667,500	29 P						
○ 一般財源 25,546,276	—						
7 医療福祉費	継続	医療費無料化事業 206,199,352 (216,007 千円)	11 需用費		子ども、重度心身障害者、母子・父子家庭の方の健康管理の向上に寄与するために、社会保険等で医療を受けた場合の自己負担分を公費で負担する。 【実施内容】 件数 72,159 件で 2,195 件増 医療費 201,576,496 円で 1,402,669 円減	健康福祉課 (保険室)	健康福祉
			・消耗品費 26,479				
			・印刷製本費（事業用） 51,840				
			12 役務費				
			・郵便料 9,216				
			13 委託料				
			・保険者事務電算処理委託料 1,235,099	89 P			
			・審査支払委託料 3,300,222				
			20 扶助費				
			・医療費 201,576,496				
			15 県支出金				
			・医療福祉費県補助金 97,703,539	33 P			
			20 諸収入				
			・福祉医療費納入金 3,392,271	43 P			
○ 一般財源 105,103,542	—						

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳（款の区分ごと）					
9 老人福祉 センター費	継続	老人福祉センター 管理業務 20,506,000 (21,006 千円)	11 需用費	91 P	老人福祉センターの管理を、社会福祉法人吉岡町 社会福祉協議会に指定管理者として行わせることに より、効率的運営と住民福祉の向上を図る。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉	
			・修繕費 1,512,000					
			13 委託料					
			・老人福祉センター指定管 理料 18,994,000					
			○ 一般財源 20,506,000	—				
10 後期高齢 者医療費	継続	後期高齢者医療 事業特別会計 繰出金 42,433,104 (42,503 千円)	28 繰出金	91 P	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金。	健康福祉課 (保険室)	健康 福祉	
			・後期高齢者医療事業特別 会計事務費等繰出金 9,733,873					
			・後期高齢者医療事業特別 会計保険基盤安定繰出金 32,699,231					
			15 県支出金	29 P	【実施内容】 繰出金対前年度：＋2,836,840 円（＋7.2％）			
			・後期高齢者医療保険基盤 安定制度負担金 24,524,423					
			○ 一般財源 17,908,681					—

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 児童福祉 総務費	継続	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 76,680 (100 千円) 総合戦略	11 需用費	93 P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出 中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄る ことができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」 として指定する。 平成29年度は、新たに指定された施設はなく増 刷のみ行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・印刷製本費 76,680				
			○ 一般財源 76,680	—			

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 児童福祉 総務費	継続	ファミリー・ サポート・ センター事業 537,656 (538 千円)	13 委託料 ・ファミリー・サポート・ センター広域実施委託料 537,656	93 P	地域子ども・子育て支援事業のひとつで、「育児援助を受けたい人」と「育児援助を行いたい人」が会員となり、センターを通じて子育ての相互援助活動(子どもの預かり・保育施設等への送迎など)を有料で行うもの。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源 537,656	—			
	継続	産前・産後 サポート事業 42,260 (123 千円) <u>総合戦略</u>	13 委託料 ・産前・産後サポート事業 広域実施委託料 42,260	93 P	育児・家事等の支援を必要とする、産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1 回につき 1,700 円(2 時間)で、3 回までを町が負担し、4 回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は 6 回までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源 42,260	—			
2 児童手当 費	継続	児童手当 支給事業 408,133,000 (410,508 千円)	13 委託料 ・児童手当システム改修業 務委託 108,000	93 P	児童の年齢等に応じて、以下の手当てを支給する。 ・0～3 歳未満：15,000 円／月 ・3 歳～小学生(第 1・2 子)：10,000 円／月 ・3 歳～小学生(第 3 子以降)：15,000 円／月 ・中学生：10,000 円／月 ・特例給付：5,000 円／月	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			20 扶助費 ・児童手当 408,025,000				
			14 国庫支出金 ・児童手当国庫負担金 286,006,332	23 P			
			15 県支出金 ・児童手当県負担金 60,989,332	29 P			
			○ 一般財源 61,137,336	—			

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 児童保育 費	継続	子どものための 教育・保育給付 806,788,155 (815,355 千円)	13 委託料 ・ 保育所運営委託料 671,595,160	93 P	子ども・子育て支援新制度により、従来バラバラ に行われていた認定子ども園、幼稚園、保育所等 に対する国の財政支援の仕組みが統一されたもの。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			19 負担金、補助及び交付金 ・ 施設型給付費 135,192,995				
			12 分担金及び負担金 ・ 保育運営費保護者負担金 151,774,750 (現年度分) ・ 保育運営費保護者負担金 439,550 (過年度分)	19 P	・ 保育所運営委託 保育を必要とする乳幼児を対象に、健全な心身 の発達を目的として、町内在住の乳幼児が通う町 内外の私立及び公立の認可保育所に対して委託料 を支払う。		
			14 国庫支出金 ・ 子どものための教育・保 育給付費国庫負担金 234,122,640	23 P	町内 5 保育所のほか、町外の各保育所に対して 支払いを行った。		
			15 県支出金 ・ 子どものための教育・保 育給付費県負担金 117,061,320	29 P	・ 施設型給付 町内在住の乳幼児が通う、町内外の認定こども 園、幼稚園等に支払いを行う。		
			・ 3 歳未満児第 3 子以降保 育料無料化事業県補助金 4,533,000	31 P	町内外の各認定こども園、幼稚園に対して支払 いを行った。		
			・ 群馬県施設型給付費等補 助金 13,749,000		なお、施設型給付に移行しない幼稚園については、 幼稚園就園奨励補助の対象となる。		
			○ 一般財源 285,107,895	—			

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野		
			財源内訳（款の区分ごと）							
3 児童保育費	継続	地域子ども・子育て支援事業 13,626,800 (14,576 千円)	13 委託料		93 P	すべての子育て家庭を対象に、地域のニーズに応じた様々な子育て支援を充実するもので、乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育事業などを実施する。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉		
			・乳幼児健康支援一時預かり事業委託料	2,414,000						
			・地域子育て支援拠点事業運営委託料	7,842,000						
			19 負担金、補助及び交付金							
			・一時預かり事業補助金	1,249,800	19 P	乳幼児健康支援一時預かり事業は、病後児保育事業の実施を竹内小児科に委託し支払いを行った。 地域子育て支援拠点事業は、吉岡町子育て支援センターいちょうクラブの事業実施に対して委託料の支払いを行った。 一時預かり事業については、町内5保育所のほか、町内外の認定こども園の事業実施に対して支払いを行った。 延長保育事業については、町内の事業を実施している保育所に対して支払いを行った。				
			・延長保育費補助金	2,121,000						
			12 分担金及び負担金						25 P	※ 別掲の学童クラブ、ファミリー・サポート・センター、妊婦健康診査も地域子ども・子育て支援事業に含まれる。
			・一時保育料保護者負担金	624,000						
・延長保育料保護者負担金	1,555,100									
・病後児保育料保護者負担金	96,000	31 P								
14 国庫支出金			—							
・子ども・子育て支援交付金	3,629,000									
15 県支出金										
・子ども・子育て支援交付金	3,629,000									
○ 一般財源	4,093,700									
	継続	保育所助成事業 20,320,330 (20,321 千円)	19 負担金、補助及び交付金		93 P	子ども・子育て支援新制度による国の財政措置を受けず、地方単独事業として障害児保育費補助金及び保育充実促進費補助金を支給し、児童福祉の充実を図るもの。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉		
			・障害児保育費補助金	2,310,000						
			・保育充実促進費補助金	18,010,330						
			15 県支出金		31 P	障害児保育費補助については、町内の2保育所に対して支払いを行った。 保育充実促進費補助については、町内の6保育所等が行った1歳児の保育士配置改善及び園児のアレルギー対策の実施に対して支払いを行った。				
			・保育充実促進費補助金	8,176,000						
			20 諸収入						43 P	
			・保育充実促進費他市町村負担金	87,200	—					
			○ 一般財源	12,057,130						

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
3 児童保育費	継続	保育士等確保事業 2,450,000 (4,500 千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・ 保育士等確保事業補助金 2,450,000	93 P	吉岡町では、人口増に伴う年度途中の低年齢児の入所により、保育士等の増員が必要となる場合が多いが、途中入所に対応した保育士等の確保が困難な状況にある。 保育所等では、年度途中の園児数の増加を見込み、年度当初の在園児数に対する保育士等数の配置基準以上に余剰配置することで、途中入所の増加に対応すべく体制を整えているが、当該基準を超えた保育士等に係る経費は、公費負担の算定とならない。 そのため、当該経費の一部を補助することにより、年度途中の園児の受入態勢の充実を図る。 町内 6 保育所等の事業実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源 2,450,000	—			
5 学童保育事業費	継続	学童クラブ 管理業務 16,975,735 (18,470 千円)	13 委託料 ・ 学童クラブ指定管理料 16,310,005	95 P	吉岡町学童クラブの管理を、社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会を指定管理者として行わせることにより、効率的運営と住民福祉の向上を図る。 指定管理期間は、平成 29 年度から平成 34 年度までの 5 年間。 また、民間学童クラブの運営に対して補助金を交付するほか、待機児童が発生し民間学童クラブに入所することとなった場合には、利用料の差額の一部を助成する。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			14 使用料及び賃借料 ・ 学童クラブ駐車場借地料 346,610				
			15 工事請負費 ・ 駒寄第 3 学童クラブフェンス設置工事 285,120				
			23 償還金、利子及び割引料 ・ 返納金 34,000	25 P			
			14 国庫支出金 ・ 子ども・子育て支援交付金 5,348,000				
			15 県支出金 ・ 子ども・子育て支援交付金 5,348,000				
			○ 一般財源 6,279,735	—			

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 保健衛生 総務費	継続	住宅用太陽光 発電システム 設置補助金 4,690,000 (6,000 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金 4,690,000	99 P	住宅用太陽光発電システムを設置した町民(49件)に対し補助金を交付し、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進を図った。 交付金額は 25,000 円/kw とし、上限は 100,000 円(4kw) とする。	町民生活課 (生活環境室)	自然 環境
			○ 一般財源 4,690,000	—			
	継続	国民健康保険事業 特別会計繰出金 114,780,585 (244,810 千円)	28 繰出金 ・国民健康保険事業特別会計繰出金 114,780,585	99 P	国民健康保険事業特別会計への繰出金。 【実施内容】 繰出金対前年度: 1,709,409 円 (+1.5%) 法定外繰入は行わなかった。	健康福祉課 (保険室)	健康 福祉
			14 国庫支出金 ・国保基盤安定補助金 18,469,793	25 P			
			15 県支出金 ・国保基盤安定補助金 59,073,153	31 P			
			○ 一般財源 37,237,639	—			
3 母子衛生 費	継続	子育て相談 支援事業 542,000 (648 千円) 総合戦略	8 報償費 ・健康相談謝礼 542,000	99 P	子育て世代が安心して子どもを生み育てるための支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実するとともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実(栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図る。 また、第二子への保健師による訪問・電話相談を実施し、早期の支援を行う。	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			○ 一般財源 542,000	—			
					・運動発達の相談 来所者 27 人 ・ことばの相談 来所者 15 人 ・母乳相談に栄養士を追加で配置 ・保健師の第二子訪問 83 件、電話相談 14 件		

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
3 母子衛生 費	継続	こどものこころの 発達健診 240,000 (240 千円) 総合戦略	8 報償費 ・ こどものこころの発達健 診謝礼 240,000	99 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を 早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の 負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として 行うもの。 1歳6カ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に 対し、心理士の詳しい検査・保護者へのアドバイス を行う。 ・ こころの発達健診 対象者8人、来所者7人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			○ 一般財源 240,000	—			
	継続	年中児こころの 成長アンケート 130,642 (455 千円) 総合戦略	8 報償費 ・ 年中児こころの成長アン ケート謝礼 24,000	99 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を 早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の 負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として 行うもの。 5歳に達する児童の保護者にアンケートを行うこ とでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会 でフォローしていくとともに、二次障害（不登校・ひ きこもり・精神疾患）の予防につなげていく。 ・ アンケート送付者214人、回答144人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			11 需用費 ・ 印刷製本費（年中児ここ ろの成長アンケート） 19,440	101 P			
			12 役務費 ・ 郵便料（年中児こころの 成長アンケート） 87,202				
			○ 一般財源 130,642	—			
	継続	発達支援教室 1,009,703 (1,139 千円) 総合戦略	8 報償費 ・ 発達支援教室謝礼 846,300	99 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を 早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の 負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として 行うもの。 年中児こころの成長アンケートで発達障害の疑い があり、発達支援教室への参加が必要となった児童 及びその保護者に対し、医師・保育士・作業療法士・ 心理士・保健師がアドバイスを行う。 ・ 教室該当者22人、参加者13人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			11 需用費 ・ 消耗品費（発達支援教 室） 43,403	101 P			
			13 委託料 ・ 発達支援教室委託料 120,000				
			○ 一般財源 1,009,703	—			

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 母子衛生 費	継続	妊婦健康診査 支援事業 18,689,370 (22,215 千円)	13 委託料 ・妊婦健康診査委託料 18,284,030 19 負担金、補助及び交付金 ・妊婦健康診査補助金 405,340 ○ 一般財源 18,689,370	101 P —	全妊婦を対象に妊婦健康診査受診票を交付し、医療機関や助産所にて妊婦健康診査を実施することにより、母体や胎児の疾患の早期発見と健康管理を行うもの。 1 人につき、1 4 回分 (98,730 円) を公費負担する。 ・配布 3,137 枚、使用 2,575 枚	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
	継続	不妊・不育対策 支援事業 4,146,000 (4,550 千円) 総合戦略	20 扶助費 ・特定不妊治療費 2,784,000 ・一般不妊治療費 1,340,000 ・不育症治療費 22,000 ○ 一般財源 4,146,000	101 P —	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率 1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成 28 年度からは、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・ 特定不妊治療…体外受精及び顕微授精 ・ 一般不妊治療…排卵誘発法、人工授精など ・ 不育症…反復して妊娠はするが、流産や早産、死産などで健常な生児に恵まれない状態 ・ 特定不妊治療助成件数 (延件数) 38 件 ・ 一般不妊治療助成件数 (延件数) 32 件 ・ 男性不妊治療助成件数 (延件数) 0 件 ・ 不育症治療費助成件数 (延件数) 1 件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
4 健康増進 費	継続	検診事業 36,701,795 (38,779 千円)	7 賃金 ・臨時賃金 140,400	101 P	町民を対象にがん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん）のほか、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげる。 平成28年度からは、以前から住民要望が多かった胃カメラを導入し、バリウムと胃カメラのいずれかを選択できる体制を整えた。 【検診受診者数】 ・胃がん検診（バリウム） 927 名 ・胃がん検診（胃カメラ） 259 名 ・大腸がん検診 1,726 名 ・胸部レントゲン検診 1,928 名 ・子宮頸がん検診 1,298 名 ・乳がん検診 1,133 名 ・前立腺がん検診 665 名 ・肝炎検診 228 名 ・歯周疾患検診 140 名	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			8 報償費 ・健康診査謝礼 85,250				
			11 需用費 ・印刷製本費（事務用） 402,192				
			12 役務費 ・検診関係通知郵便料 1,806,572				
			13 委託料 ・健康診査等委託料 31,464,623 ・事務委託料 2,775,600				
			14 使用料及び賃借料 ・パソコン借上料 27,158				
			14 国庫支出金 ・がん検診推進事業費補助金 10,000	25 P			
			15 県支出金 ・健康増進事業費県補助金 1,059,559	33 P			
			○ 一般財源 35,632,236	—			

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
4 健康増進 費	継続	健康No. 1 プロジェクト事業 2,526,558 (2,882 千円)	8 報償費	101 P	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか健康No.1プロジェクト」は保健・医療・福祉の各専門家と自治会の傘下である「よしおか健康推進協議会」などが連携し、健康づくりに関する事業の開催や、各地域独自の推進活動を行っている。 平成29年度は講演会や運動教室、栄養講座、体力測定会、軽スポーツ交流会など従来の事業のほか、各地区で行われている筋トレやストレッチなどが正しく出来るように、運動指導DVDを制作して自治会単位に配布した。 また、子供からお年寄りまでが参加でき、楽しみながら健康づくりにも関心が持てるように「運動・食育・こころの健康」をテーマにした「よしおか健康まつり」を開催した。 (よしおか健康推進協議会活動 延 1,137 人) (自治会での自主活動 延 17,862 人)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・その他謝礼 981,600				
			11 需用費				
			・消耗品費 70,153				
			・ガス代 4,860				
			・食糧費 89,557				
			・印刷製本費（事務用） 800				
			12 役務費	103 P			
			・体力測定会手数料 72,400				
			・運動指導DVD製作手数料 75,600				
・傷害保険料 15,200							
14 使用料及び賃借料							
・健康No.1 プロジェクト用借上料 17,820							
19 負担金、補助及び交付金							
・各種負担金 10,000							
・よしおか健康No.1 プロジェクト事業補助金 1,188,568							
○ 一般財源 2,526,558	—						

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
5 環境衛生 費	継続	浄化槽設置整備 事業 2,738,000 (2,738 千円)	19 負担金、補助及び交付金	103 P	公共下水道エリアと農業集落排水エリア以外の区 域を対象に、単独浄化槽及び汲取り式から合併処理 浄化槽への転換を推進する（エコ補助金）ほか、開発 事業を除く一般住宅を対象に、合併処理浄化槽設置 費の一部を補助する。 ・補助金交付実績：14 基（内エコ補助金 2 基）	上下水道課 (下水道室)	自然 環境
			・浄化槽設置整備事業費補 2,538,000 助金				
			・浄化槽エコ補助金 200,000				
			14 国庫支出金	25 P			
			・浄化槽設置整備事業費交 1,337,000 付金				
15 県支出金	33 P						
・浄化槽設置整備事業費交 299,000 付金							
○ 一般財源 1,102,000	—						

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 塵芥処理 費	継続	資源ごみ回収 事業補助金 4,010,550 (4,492 千円)	19 負担金、補助及び交付金	105 P	ごみの減量、資源の再利用及び地域コミュニティの育成を促進し、併せて廃棄物処理行政に対する町民意識の高揚を図ることを目的とし、資源ごみを回収した自治会等の営利を目的としない団体(44 団体)に対して補助金を交付した。	町民生活課 (生活環境室)	自然 環境
			・資源ごみ回収事業補助金 4,010,550				
			○ 一般財源 4,010,550	—			

(款) 5 労働費

(項) 1 労働諸費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 労働諸費	継続	勤労者住宅資金 利子補給事業 7,739,735 (9,302 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ 勤労者住宅資金利子補給 7,739,735	105 P	金融機関から資金を借入れ、町内に専用住宅を 新築し、又は新築住宅を購入した給与所得者に対し、 借入額のうち 1,000 万円以内に対し、年利 1.0%を 上限 (上限額 100,000 円) として 1 年間利子補給す ること、給与所得者の負担を軽減した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 7,739,735	—			
	継続	勤労者生活資金 融資事業 5,000,000 (5,000 千円)	21 貸付金 ・ 勤労者生活資金融資預託 金 5,000,000	105 P	町内在住の勤労者に対し、該当する目的に必要な 資金を 100 万円以内、期間 5 年以内で融資するもの。 このため、金融機関に資金を預託している。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			20 諸収入 ・ 勤労者生活資金融資預託 金 5,000,000	41 P			

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 農業振興 費	継続	地域特産品生産 体制構築事業 4,903,200 (5,000 千円) 総合戦略	13 委託料 ・ 地域特産品生産体制構築 事業委託料 4,903,200	109 P	小倉乾燥芋のブランド化に向けた地元生産者との 合意形成を図るため、吉岡町乾燥芋協議会を設立し、 栽培・製造方法の確立、衛生管理の基準、プロモーシ ョン等について議論を交わした。 また、規格外の生芋や乾燥芋を活用した試作品の 試験販売、新パッケージデザインの作成など販路拡 大に向けた実証を行ったほか、法人化に向けての経 営計画の精査等を行った。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			14 国庫支出金 ・ 地方創生推進交付金 2,451,600	23 P			
			○ 一般財源 2,451,600	—			
	継続	青年就農給付金 給付事業 2,812,500 (2,813 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ 青年就農給付金 2,812,500	111 P	経営リスクを負っている新規就農者の経営が安定 した軌道にのるまでの間、最長 5 年間で 1 人年額最 大 150 万円までを助成する。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			15 県支出金 ・ 青年就農給付金 2,812,500	33 P			

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 農業振興費	継続	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 機能強化事業 501,000 (900 千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・道の駅まつり交付金 501,000	111 P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品の PR 強化を図る事業。 今年度は、道の駅で行われた年 2 回のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域 P R 活動が行われた。	産業建設課 (産業振興室)	産業雇用
			○ 一般財源 501,000	—			
5 農地費	継続	小規模農村 整備事業 9,140,400 (9,141 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・小規模農村整備事業負担金 9,140,400	111 P	南下大藪地区において、延長 648m の農業用水路の敷設替工事を群馬用土地改良区が事業主体で整備した。	産業建設課 (用地管理室)	産業雇用
			○ 一般財源 9,140,400	—			
	継続	群馬用水施設 緊急改築事業 12,898,551 (12,899 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・群馬用水施設緊急改築事業償還負担金 12,898,551	113 P	群馬用水施設緊急改築事業の償還 (8 年目 / 17 年) を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業雇用
			○ 一般財源 12,898,551	—			

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
6 地籍調査 費	継続	地籍調査費 26,715,360 (27,398 千円)	8 報償費	113 P	南下Ⅲ地区（南下長山の一部、三疋、川子、高縄）は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目、境界の確認及び地積（面積）に関する測量を実施した。 南下Ⅱ地区（南下午王頭川北、旧県道西）は、地籍図案及び地籍簿案を作成し、地権者への閲覧を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・地籍調査推進委員 301,600				
			9 旅費				
			・普通旅費 34,240				
			11 需用費				
			・消耗品費（事務用） 98,983				
			・消耗品費（現場用） 9,649				
			・食糧費 14,400				
			・印刷製本費 46,000				
			・材料費（現場用） 246,173				
			12 役務費				
			・郵送料 158,689				
			・傷害保険料 11,736				
			13 委託料				
			・地籍調査業務委託料 14,040,000				
			・復元測量業務委託料 10,923,120				
			・システム保守業務委託料 486,000				
			・登記事項調査委託料 129,600				
14 使用料及び賃借料	23 P						
・事務支援システム借上料 163,170							
19 負担金、補助及び交付金	29 P						
・国土調査推進協議会会費 52,000							
13 使用料及び手数料	23 P						
・地籍図等交付手数料 3,600							
15 県支出金	29 P						
・国土調査（地籍調査）事業負担金 11,265,000							
○ 一般財源 15,446,760	—						

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳（款の区分ごと）					
7 渇水対策 施設維持管理費	継続	渇水対策施設 管理業務 14,628,790 (15,751 千円)	11 需用費	113 P	小倉揚水機場の電気設備等の維持管理や、管路施設の修繕を行った。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用	
			・消耗品費（事務用）					1,620
			・消耗品費（施設用）					4,535
			・電気料					12,641,459
			13 委託料					621,216
			・電気設備保守点検委託料					
			15 工事請負費	1,254,960				
			・管路施設等修繕工事					
25 積立金	105,000							
・渇水対策施設維持管理基金								
16 財産収入	103,790	37 P						
・渇水対策施設維持管理基金利子								
18 繰入金	8,525,000	39 P						
・渇水対策施設維持管理基金繰入金								
20 諸収入	6,000,000	41 P						
・渇水対策施設管理費（水道分）								
8 農業集落 排水事業費	継続	農業集落排水事業 特別会計繰出金 119,750,143 (124,735 千円)	28 繰出金	115 P	吉岡町農業集落排水事業は整備が完了しており、各処理施設の維持管理が主体となっている。 平成２９年度は小倉地区の接続推進、不明水等の防止対策、老朽管の維持補修のほか、上野田処理施設及び北下南下地区処理施設の老朽化に伴う、設備の修繕・交換及び維持管理を実施。 また、平成３２年度からの法適化移行を目標に、地方公営企業法適用業務委託を発注し、基本計画の策定や固定資産台帳の整備等を行った。	上下水道課 (下水道室)	自然 環境	
			・農業集落排水事業特別会計繰出金					119,750,143
			○ 一般財源	119,750,143				－

(款) 6 農林水産業費

(項) 2 林業費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 林業振興費	新規	(仮称) 林道 栗籠・井堤線 新設事業 5,616,000 (7,000 千円)	13 委託料 ・ 県単林道改良工事設計委託料 5,616,000	115 P	県道前橋・伊香保線と上野原南部地区を接続する林道を開設するための測量設計の業務委託をした。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			15 県支出金 ・ 県単林道改良事業 2,800,000	33 P			
			○ 一般財源 2,816,000	—			

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 商工総務費	継続	住宅リフォーム 促進事業 2,132,000 (2,500 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ 住宅リフォーム促進事業補助金 2,132,000	117 P	地域経済活性化対策の一環として、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を目的とするもの。 町民が居住する住宅について、町内の施工業者を利用して住宅リフォーム工事を行った場合に、費用の一部を助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 2,132,000	—			
	継続	ぐんま新技術・ 新製品開発推進 事業 316,000 (400 千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・ ぐんま新技術・新製品開発推進補助金 316,000	117 P	町内の中小企業者の開発意欲を助長し、その競争力強化と発展を図ることを目的とし、町内に事業所をもつ中小企業者が行う新製品・新商品の開発に係る研究開発費の一部を、県と町が連携して助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 316,000	—			

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 観光費	継続	よしおか再発見 ウォーク 52,639 (84 千円)	8 報償費 ・ 記念品 46,729 11 需用費 ・ 食糧費 2,610 12 役務費 ・ 保険料 3,300 20 諸収入 ・ よしおか再発見ウォーク 参加者負担金 7,900 ○ 一般財源 44,739	117 P 119 P 45 P —	第 5 次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか再発見プロジェクト」の一環として、吉岡町の魅力を掘り起こす事業。各種団体が名所・史跡、物産の魅力を紹介や提供をし、参加者がその魅力を外部へ発信することが目的。 第 8 回は肩切り薬師や三津屋古墳など駒寄地区の史跡を巡り、町の特産物である船尾まんじゅうなどを参加賞として提供。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
	継続	観光 P R 事業 1,501,760 (1,914 千円)	8 報償費 ・ 記念品 22,560 9 旅費 ・ 普通旅費 244,558 11 需用費 ・ 消耗品費 598,349 ・ 食糧費 15,324 ・ 観光パンフレット 408,240 12 役務費 ・ 広告掲載料 37,800 ・ クリーニング代 2,973 19 負担金、補助及び交付金 ・ 吉岡町 P R 事業交付金 171,956 20 諸収入 ・ グリーンフラワー事業補 助金 180,000 ・ 「町イチ！村イチ！」事業 参加助成金 264,630 ○ 一般財源 1,057,130	117 P 119 P 45 P —	第 5 次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか再発見プロジェクト」の一環として「伊香保などと連携したキラリと光る観光まち」を目標に実施。 ・ 渋川地区観光特別宣伝協議会の事業として日本温泉協会主催の旅と温泉展合同キャラバンにて渋川市、榛東村と連携して観光 P R 展示用の情報提供 ・ 町の観光 P R のための首都圏における P R イベントに渋川市、榛東村と合同参加 ・ 観光パンフレット等の印刷 ・ 商工会などのイベント参加による特産品 P R ・ 伊香保街道や町内観光施設イメージアップのための花壇設置	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 観光費	新規	花と緑の ぐんまづくり 2018in よしおか ～ふるさと キラキラ フェスティバル～ 18,000,000 (18,000 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・花と緑のぐんまづくり協 議会負担金 18,000,000	119 P	県協議会負担金 5,000,000 円, 町実行委員会への 予算 13,000,000 円の範囲内で、花壇の造成、イベン トの開催等に支出した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 18,000,000	—			

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋梁費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 道路橋梁 総務費	継続	大榛橋架け替え 事業負担金 (榛東村施行) 13,862,080 (13,909 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・大榛橋架け替え事業負担 金 (榛東村施行) (繰越明 許) 13,862,080	121 P	榛東村が施工する大榛橋架け替え工事に対して町 負担金を支出した。平成 28 年度は下部工を施工し たが、迂回路の調整に時間を要し、工事が遅延した ため繰越を行い、平成 29 年度に下部工が終了した。	産業建設課 (用地管理室)	安全 便利
			○ 一般財源 13,862,080	—			
	新規	橋梁点検 業務負担金 (渋川市施行) 151,200 (200 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・橋梁点検業務負担金 (渋 川市施行) 151,200	121 P	渋川市と吉岡町の境界に位置する夫婦橋の橋梁定 期点検業務について、渋川市と締結した協定書に基 づき、点検は渋川市が実施し、点検費用の 1/2 を 町負担金として支出した。	産業建設課 (用地管理室)	安全 便利
			○ 一般財源 151,200	—			

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋梁費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳（款の区分ごと）					
3 道路新設 改良費	継続	町道 「明小・北発地岡線」 道路改良事業 42,050,920 (43,220 千円)	13 委託料	123 P	平成２８年度から明治小学校の通学路である本路 線を拡幅するとともに、歩道を整備した。 平成２９年度は、L＝137.9m舗装工事等を実施し 完成した。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利	
			・設計積算・施工管理業務委託料（繰越明許）					1,767,960
			・設計積算・施工管理業務委託料					1,969,920
			15 工事請負費					
			・町道改良工事（単独）					4,000,000
			・町道改良工事（補助）					19,764,000
			・町道改良工事（補助）（繰越明許）					12,716,800
			22 補償、補填及び賠償金	25 P				
			・町道改良工事外（繰越明許）					1,680,440
			・町道改良工事外					151,800
14 国庫支出金	27 P							
・社会資本整備総合交付金（道路改良事業）		8,212,000						
・社会資本整備総合交付金（道路改良事業）（繰越明許）	4,510,000							
○ 一般財源	—							

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋梁費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
5 橋梁維持費	継続	橋梁の長寿命化 36,315,360 (39,162 千円)	13 委託料	125 P	町が管理する橋梁の長寿命化を図るため、定期点検、補修設計及び補修工事を実施した。 平成２８年度繰越事業は、補修工事（６橋）が完成した。 平成２９年度事業は、補修工事（３橋）を発注して翌年度に繰り越した。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利
			・橋梁補修設計積算・施工 1,767,960 管理業務（繰越明許）				
			・橋梁点検業務（補助） 10,206,000				
			15 工事請負費				
			・橋梁維持補修工事（補助）（繰越明許） 12,723,000				
			・橋梁維持補修工事（補助） 11,618,400				
			14 国庫支出金	25 P			
・社会資本整備総合交付金 10,576,500 （橋梁長寿命化修繕事業）							
	・社会資本整備総合交付金 6,682,500 （橋梁長寿命化修繕事業）（繰越明許）	27 P					
	○ 一般財源 19,056,360	—					

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
1 都市計画 総務費	継続	立地適正化計画 策定業務 6,579,460 (6,585千円) 総合戦略	8 報償費 ・立地適正化計画策定委員 謝礼 88,120	125 P	居住や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市計画マスタープランの高度化版となる立地適正化計画を策定した。 居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編との連携により、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めるものである。 ない、一部業務委託を翌年度に繰り越した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			11 需用費 ・食糧費 11,340				
			13 委託料 ・立地適正化計画策定業務 6,480,000	127 P			
			14 国庫支出金 ・集約都市形成支援事業費 補助金 3,130,000	27 P			
			○ 一般財源 3,449,460	—			

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
2 都市施設 費	継続	南下城山防災公園 整備事業 138,421,046 (155,843 千円)	9 旅費 ・普通旅費（南下城山防災公園）26,400	127 P	町民誰もが楽しめる大規模公園を桃井城址に整備する工事を進めた。 平成29年度は、平成28年度に引き続き公園整備を行うとともに、駐車場設置、園路工事、植栽工事及び公園進入道路改良工事などを実施した。 なお、一部工事を翌年度に繰り越した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			11 需用費 ・消耗品費（南下城山防災公園）90,127				
			13 委託料 ・梅林管理業務（南下城山防災公園）（繰越明許）1,137,600				
			・設計積算・施工管理業務（南下城山防災公園）（繰越明許）2,410,560				
			・除草業務（南下城山防災公園）338,939				
			・雨水計画策定業務（南下城山防災公園）1,487,700	129 P			
			15 工事請負費 ・建設工事（南下城山防災公園）67,025,320				
			・建設工事（南下城山防災公園）（繰越明許）65,904,400				
			14 国庫支出金 ・南下城山防災公園事業補助金40,084,000	25 P			
			・南下城山防災公園整備事業補助金（繰越明許）40,990,000	27 P			
			21 町債 ・緊急防災・減災事業債（南下城山防災公園整備事業）28,400,000	47 P			
			・緊急防災・減災事業債（南下城山防災公園整備事業）（繰越明許）27,300,000				
○ 一般財源1,647,046	—						

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野		
			財源内訳（款の区分ごと）						
2 都市施設 費	継続	駒寄スマート I C 大型車対応化事業 195,438,769 (226,725 千円)	9 旅費	127 P	前橋市、吉岡町及びネクスコ東日本が連携し、駒寄スマート I C の大型車対応化事業を進めた。 平成 2 9 年度は、用地取得及び移設補償等を実施し、関越自動車道東側町道の一部付替え工事などを実施した。また、一部工事等を翌年度に繰り越した。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利		
			・普通旅費(スマート I C)					30,730	
			11 需用費					129 P	
			・消耗品費(スマート I C)						12,348
			13 委託料						
			・用地買収地登記業務（スマート I C）（繰越明許）	210,600					
			・用地買収地登記業務（スマート I C）	121,973					
			・駒寄スマート I C 大型車対応化事業	30,950,509					
			・駒寄スマート I C 大型車対応化事業（繰越明許）	36,637,932					
			15 工事請負費	25 P					
			・建設工事（スマート I C）					42,511,000	
			17 公有財産購入費					27 P	
			・用地買収費（スマート I C）						15,638,606
			・用地買収費（スマート I C）（繰越明許）						18,379,121
			19 負担金、補助及び交付金	45 P					
			・駒寄スマート I C 大型車対応化事業負担金						2,725,935
22 補償、補填及び賠償金	47 P								
・補償費（スマート I C）		29,751,015							
・補償費（スマート I C）（繰越明許）		18,469,000							
14 国庫支出金		—							
・地域連携道路事業費補助金（駒寄スマート I C）			64,851,341						
・社会資本整備総合交付金（駒寄スマート I C）（繰越明許）	40,417,330								
20 諸収入	—								
・駒寄スマート I C 大型化事業に係る前橋市負担金			40,641,221						
・駒寄スマート I C 大型化事業に係る前橋市負担金（繰越明許）		24,959,493							
○ 一般財源		24,569,384							

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 下水道費	継続	公共下水道事業 特別会計繰出金 165,958,478 (172,921 千円)	28 繰出金 ・ 公共下水道事業特別会計 繰出金 165,958,478	129 P	平成 29 年度は、平成 28 年度に行った公共下水道全体計画の見直し及び公共下水道区域拡大の事業計画の変更に基づき、区域拡大箇所の実施設計を行った。 公共下水道区域の既供用開始区域内では、本管未整備箇所について、管渠整備の実施、不明水対策調査及び補修工事、マンホールポンプの更新等を実施した。 また、平成 32 年度からの法適化移行を目標に、地方公営企業法適用業務委託を発注し、基本計画の策定や固定資産台帳の整備等を実施した。	上下水道課 (下水道室)	自然 環境
			○ 一般財源 165,958,478	—			

(款) 8 土木費

(項) 5 住宅費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 住宅対策 費	新規	空家等対策事業 2,944,516 (3,289 千円) 総合戦略	8 報償費 ・ 空家等対策協議会謝礼 121,180	131 P	空家等対策の推進に関する特別措置法第 6 条第 1 項の規定による吉岡町空家等対策計画を策定し、空家対策を推進した。 平成 29 年度は、計画策定に向けた実態調査と一部計画策定業務を行い、計画策定に係る業務委託を翌年度に繰り越した。 また、「吉岡町空家シンポジウム 2018」を開催した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			11 需用費 ・ 食糧費 4,536				
			13 委託料 ・ 空家等対策計画策定業務 2,818,800				
			14 国庫支出金 ・ 社会資本整備総合交付金 1,400,000 (空き家再生等推進事業)	25 P			
			○ 一般財源 1,544,516	—			

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 非常勤消防費	継続	消防団運営費 12,777,667 (13,622 千円)	1 報酬 ・非常勤職員報酬 6,747,667 13 委託料 ・消防団各事業委託料 5,430,000 19 負担金、補助及び交付金 ・消防団運営補助金 600,000 ○ 一般財源 12,777,667	131 P —	町民の生命、財産を守るために日々活動する消防団員に対し、報酬、各種出動委託料及び運営補助金を支払った。 ○ 消防団員総員：105名（平成29年4月1日現在） ○ 報酬（年額）：団長 295,000 円、副団長 221,000 円、分団長・ラッパ長 147,000 円、副分団長 94,000 円、副ラッパ長 83,000 円、部長 82,000 円、班長 62,000 円、機関員 47,000 円、団員 39,000 円、ラッパ手 41,000 円	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
	新規	消防団員 自動車運転免許 取得費補助金 385,316 (3,960 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・消防団員自動車運転免許 取得費補助金 385,316 ○ 一般財源 385,316	131 P —	所属している分団の消防自動車を運転できない団員を対象に、中型免許等の取得費を補助し、消防機能の充実を図った。 中型免許：1名 準中型免許：2名	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
4 災害対策費	継続	自主防災組織 支援事業 143,200 (650 千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・自主防災組織活動補助金 143,200 ○ 一般財源 143,200	133 P —	総合戦略事業として、自主防災組織を支援することで地域防災力の向上を図り、地域と一体となったまちづくりを推進していく。 ・ 自主防災組織の活動費及び資機材購入費の一部を助成した。(小倉、北下、陣場、大久保寺上、溝祭、漆原西、漆原東自治会)	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
5 無線放送 施設設置事 業費	継続	防災無線 デジタル化事業 67,548,600 (74,006 千円) 総合戦略	13 委託料 ・ 防災無線デジタル化設置 工事監理委託料 1,414,800	133 P	現在の防災行政無線施設は平成 11 年に整備され たが、近年の大規模災害の発生を教訓として、防災 行政無線には、これまで以上に多様化・高度化する 通信ニーズへの対応が要求されている。 渋川広域消防本部の無線放送施設のデジタル化が 完了していること等も踏まえ、防災行政無線施設の デジタル化を実施する。 平成 29 年度は、親局設備・子局 1 局の設置工事 を行った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 利便
			15 工事請負費 ・ 防災無線デジタル化設置 工事 66,133,800				
			14 国庫支出金 ・ 民生安定施設設置助成補 助金 (防災無線デジタル 化事業) 49,329,000	27 P			
			21 町債 ・ 緊急防災・減災事業債 (防災無線デジタル化事 業) 18,200,000	47 P			
			○ 一般財源 19,600	—			

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 教育振興 費	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 14,521,700 (14,913 千円) 総合戦略	28 繰出金 ・ 駒小学校給食事業特別会 計繰出金 8,201,350	147 P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを 行い、児童 1 人当たり 10,450 円 (950 円×11 カ月) を補助する。 ・ 対前年度：△1,900 円 (△0.01%)	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育 文化
			・ 明小学校給食事業特別会 計繰出金 6,320,350				
			○ 一般財源 14,521,700	—			

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 学校建設費	新規	明治小学校 職員室改修事業 3,672,000 (3,672 千円)	13 委託料 ・明小職員室改修工事設計 3,672,000	147 P	明治小学校の児童数増加に伴い教職員数も増加し、職員室の面積が不足していることから、拡幅改修工事を行うための実施設計を行った。	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源 3,672,000	—			
	新規	駒寄小学校 教室改修事業 2,235,600 (2,236 千円)	15 工事請負費 ・駒小製作室改修工事 2,235,600	147 P	駒寄小学校の児童数増加に伴い、普通教室の不足が想定されていたため、製作室を普通教室に改修し、平成30年度の教室不足を解消した。	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源 2,235,600	—			

(款) 10 教育費

(項) 3 中学校費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
2 教育振興費	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 7,152,550 (7,295 千円) 総合戦略	28 繰出金 ・学校給食事業特別会計繰出金 7,152,550	151 P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、生徒1人当たり10,450円(950円×11カ月)を補助する。 ・対前年度：+35,150円(+0.5%)	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源 7,152,550	—			
3 学校建設費	新規	吉岡中学校 インターホン 整備事業 2,927,880 (2,928 千円)	15 工事請負費 ・インターホン入替工事 2,927,880	151 P	吉岡中学校のインターホンが老朽化し、不具合が生じていたため、入替工事を行い不具合を解消した。	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源 2,927,880	—			

(款) 10 教育費

(項) 4 社会教育費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 社会教育 総務費	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,555,783 (3,592 千円) 総合戦略	8 報償費 ・体験発表等記念品 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 2,000	153 P	友好都市である北海道大樹町において自然体験・社会体験・宿泊体験を行うことにより、大樹町の子どもたちとの交流のほか、地域社会でリーダーシップを発揮できる青少年を育成することができた。 ・参加者 30 名。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			9 旅費 ・普通旅費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 641,400				
			11 需用費 ・消耗品費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 31,451				
			・食糧費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 51,020				
			・印刷製本費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 127,600				
			12 役務費 ・保険料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 28,800				
			13 委託料 ・業務委託料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 2,669,300				
			14 使用料及び賃借料 ・携帯電話使用料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業) 4,212				
			20 諸収入 ・吉岡町・大樹町子ども交流事業負担金 900,000	43 P			
			○ 一般財源 2,655,783	—			

(款) 10 教育費

(項) 4 社会教育費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
4 文化センター費	新規	文化センター エントランス ホール東側 自動ドア設置工事 10,962,000 (11,020 千円) 総合戦略	13 委託料 ・文化センターエントラン スホール東側自動ドア設 置工事設計監理業務委託 料 1,296,000	159 P	子どもから高齢者まで多世代が利用している吉岡町文化センターの地域交流施設としての機能充実を図るため、吉岡町文化センターと隣接する「ふれあい公園」の一体的な活用が可能となるよう、文化センターエントランスホール東側に自動ドアを設置する工事を行った。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			15 工事請負費 ・文化センターエントラン スホール東側自動ドア設 置工事 9,666,000				
			○ 一般財源 10,962,000	—			
5 文化財保護・調査費	新規	文化財事務所 新築移転工事 61,902,792 (61,947 千円) 総合戦略	13 委託料 ・文化財事務所移転工事設 計監理委託料 5,788,800	161 P	老朽化した既存の文化財事務所を移転し、隣接する南下古墳公園と併せて当町の歴史・文化の情報発信拠点として機能させるため、展示スペースを持つ体験学習室を備えた文化財センターを新築した。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			15 工事請負費 ・文化財事務所移転工事 56,113,992				
			17 寄附金 ・企業版ふるさと納税 30,000,000	37 P			
			18 繰入金 ・教育文化振興基金繰入金 17,000,000	39 P			
			○ 一般財源 14,902,792	—			

(款) 10 教育費

(項) 6 給食センター費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 給食センター費	新規	プレハブ冷蔵庫 設置事業 2,948,400 (2,949 千円)	18 備品購入費 ・プレハブ冷蔵庫 2,948,400	167 P	大量調理施設衛生管理マニュアルが改正され、調理後ただちに提供される食品以外の食品は、食中毒菌の増殖を抑制するため、適切な温度を保つことが示された。 このたび、庫内温度を△6℃～20℃に保つことができるプレハブ冷蔵庫を設置したことで、和え物などに対する食中毒の発生を防止し、安全・安心な給食を提供することが可能となるとともに、給食のメニューの幅も広がり、充実した給食の提供が行えるようになった。	教育委員会事務局 (給食センター)	教育文化
			○ 一般財源 2,948,400	—			

6. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成29年度主要事業一覧表（再掲）

基本目標1：「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

（1）豊かな住環境の整備と安全・便利なまちづくり

①計画的な土地利用による良好な住環境の形成

（単位：円）

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
身近な公園 の整備	新規	文化センター エントランス ホール東側 自動ドア設置工事 10,962,000 (11,020 千円)	13 委託料 ・文化センターエントラン スホール東側自動ドア設 置工事設計監理業務委託 料 1,296,000	159 P	子どもから高齢者まで多世代が利用している吉岡町文化センターの地域交流施設としての機能充実を図るため、吉岡町文化センターと隣接する「ふれあい公園」の一体的な活用が可能となるよう、文化センターエントランスホール東側に自動ドアを設置する工事を行った。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			15 工事請負費 ・文化センターエントラン スホール東側自動ドア設 置工事 9,666,000				
			○ 一般財源 10,962,000	—			
			土地利用の 規制・誘導	継続	立地適正化計画 策定業務 6,579,460 (6,585 千円)	8 報償費 ・立地適正化計画策定委員 謝礼 88,120	125 P
11 需用費 ・食糧費 11,340							
13 委託料 ・立地適正化計画策定業務 6,480,000	127 P	居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編との連携により、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めるものである。 ない、一部業務委託を翌年度に繰り越した。					
14 国庫支出金 ・集約都市形成支援事業費 補助金 3,130,000	27 P						
○ 一般財源 3,449,460	—						

②公共交通・道路網の充実

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
公共交通 利便性 向上事業	継続	相乗り推奨 タクシー 実証実験 215,401 (310 千円)	11 需用費 ・印刷製本費 (交通対策事業用) 98,280	63 P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより、タクシーを活用した外出機会の創出を図り、もって日常生活の利便性の向上に資することを目的とする実証実験を平成29年度も継続して実施した。 申請者数は58人(実26人)、利用者数は43人(実17人)、また利用回数は229回で運行回数とすると179回となり、内訳は単独乗車129回、相乗乗車50回(相乗率27.9%)の結果であった。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			12 役務費 ・郵便料 (交通対策事業用) 2,621				
			13 委託料 ・公共交通実証実験業務委託 114,500				
			○ 一般財源 215,401				
	新規	公共交通 利用促進事業 249,804 (250 千円)	11 需用費 ・印刷製本費 (交通対策事業用) 249,804	63 P	公共交通の利便性向上を図るため、路線バスの停留所マップや活用方法等が掲載された公共交通の利用促進パンフレットを作成・配布し、既存の公共交通網のポテンシャルを最大限発揮し、地域の財産として有効活用していくきっかけづくりとした。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			○ 一般財源 249,804	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
地域自主防災 組織の充実	継続	自主防災組織 支援事業 143,200 (650 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・自主防災組織活動補助金 143,200	133 P	総合戦略事業として、自主防災組織を支援することで地域防災力の向上を図り、地域と一体となったまちづくりを推進していく。 ・ 自主防災組織の活動費及び資機材購入費の一部を助成した。(小倉、北下、陣場、大久保寺上、溝祭、漆原西、漆原東自治会)	町民生活課 (生活環境室)	安全 利便
			○ 一般財源 143,200	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
防災無線 整備事業	継続	防災無線 デジタル化事業 67,548,600 (74,006 千円)	13 委託料 ・ 防災無線デジタル化設置 工事監理委託料 1,414,800	133 P	現在の防災行政無線施設は平成 11 年に整備されたが、近年の大規模災害の発生を教訓として、防災行政無線には、これまで以上に多様化・高度化する通信ニーズへの対応が要求されている。 渋川広域消防本部の無線放送施設のデジタル化が完了していること等も踏まえ、防災行政無線施設のデジタル化を実施する。 平成 29 年度は、親局設備・子局 1 局の設置工事を行った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			15 工事請負費 ・ 防災無線デジタル化設置 工事 66,133,800				
			14 国庫支出金 ・ 民生安定施設設置助成補 助金 (防災無線デジタル 化事業) 49,329,000	27 P			
			21 町債 ・ 緊急防災・減災事業債 (防災無線デジタル化事 業) 18,200,000	47 P			
			○ 一般財源 19,600	—			
空き家 対策事業	新規	空家等対策事業 2,944,516 (3,289 千円)	8 報償費 ・ 空家等対策協議会謝礼 121,180	131 P	空家等対策の推進に関する特別措置法第 6 条第 1 項の規定による吉岡町空家等対策計画を策定し、空家対策を推進した。 平成 29 年度は、計画策定に向けた実態調査と一部計画策定業務を行い、計画策定に係る業務委託を翌年度に繰り越した。 また、「吉岡町空家シンポジウム 2018」を開催した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			11 需用費 ・ 食糧費 4,536				
			13 委託料 ・ 空家等対策計画策定業務 2,818,800				
			14 国庫支出金 ・ 社会資本整備総合交付金 (空き家再生等推進事業) 1,400,000	25 P			
			○ 一般財源 1,544,516	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
放課後児童 安全対策事業 (見守り パトロール)	継続	放課後児童 見守りパトロール 2,260,500 (2,309千円)	13 委託料 ・放課後児童見守りパトロール委託料 2,260,500	65 P	子育て世代の女性が安心して育児に取り組める環境の整備を目的として、放課後児童見守りパトロールを実施した。 見守りパトロールの内容は、公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分のパトロールを240日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			○ 一般財源 2,260,500	—			
放課後児童 安全対策事業 (防犯カメラ)	継続	防犯カメラ 設置事業 2,728,382 (3,098千円)	11 需用費 ・防犯カメラ電気料 41,742 ・防犯カメラ修繕料 5,400	65 P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カメラを8台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			15 工事請負費 ・防犯カメラ設置工事 2,681,240	67 P			
			○ 一般財源 2,728,382	—			

基本目標２：一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

(１) 子育て世帯への支援の充実

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
産前・産後 サポート事業	継続	産前・産後 サポート事業 42,260 (123 千円)	13 委託料 ・産前・産後サポート事業 42,260 広域実施委託料	93 P	育児・家事等の支援を必要とする、産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1 回につき 1,700 円 (2 時間) で、3 回までを町が負担し、4 回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は 6 回までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源 42,260	—			
発達障がい の早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	こどものこころの 発達健診 240,000 (240 千円)	8 報償費 ・こどものこころの発達健診 240,000 診謝礼	99 P	自閉症や ADHD・ASD 等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 1 歳 6 カ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に対し、心理士の詳しい検査・保護者へのアドバイスを行う。 ・こころの発達健診 対象者 8 人、来所者 7 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			○ 一般財源 240,000	—			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）					
発達障がいの 早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	年中児こころの 成長アンケート 130,642 (455 千円)	8 報償費 ・ 年中児こころの成長アン ケート謝礼	24,000	99 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を 早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の 負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として 行うもの。 5歳に達する児童の保護者にアンケートを行うこ とでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会 でフォローしていくとともに、二次障害（不登校・ひ きこもり・精神疾患）の予防につなげていく。 ・ アンケート送付者 214 人、回答 144 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			11 需用費 ・ 印刷製本費（年中児ここ ろの成長アンケート）	19,440	101 P			
			12 役務費 ・ 郵便料（年中児こころの 成長アンケート）	87,202				
			○ 一般財源	130,642	—			
	継続	発達支援教室 1,009,703 (1,139 千円)	8 報償費 ・ 発達支援教室謝礼	846,300	99 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を 早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の 負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として 行うもの。 年中児こころの成長アンケートで発達障害の疑い があり、発達支援教室への参加が必要となった児童 及びその保護者に対し、医師・保育士・作業療法士・ 心理士・保健師がアドバイスを行う。 ・ 教室該当者 22 人、参加者 13 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			11 需用費 ・ 消耗品費（発達支援教 室）	43,403	101 P			
			13 委託料 ・ 発達支援教室委託料	120,000				
			○ 一般財源	1,009,703	—			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
育児相談の 充実事業	継続	子育て相談 支援事業 542,000 (648 千円)	8 報償費 ・健康相談謝礼 542,000	99 P	子育て世代が安心して子どもを生み育てるための 支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実すると ともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実 (栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、 育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図る。 また、第二子への保健師による訪問・電話相談を 実施し、早期の支援を行う。 ・運動発達の相談 来所者 27 人 ・ことばの相談 来所者 15 人 ・母乳相談に栄養士を追加で配置 ・保健師の第二子訪問 83 件、電話相談 14 件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			○ 一般財源 542,000	—			
赤ちゃんの駅 (情報マップ) の活用支援	継続	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 76,680 (100 千円)	11 需用費 ・印刷製本費 76,680	93 P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出 中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄る ことができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」 として指定する。 平成 29 年度は、新たに指定された施設はなく増 刷のみ行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			○ 一般財源 76,680	—			

②子育ての経済的負担の軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
不妊・不育 対策支援	継続	不妊・不育対策 支援事業 4,146,000 (4,550 千円)	20 扶助費 ・ 特定不妊治療費 2,784,000 ・ 一般不妊治療費 1,340,000 ・ 不育症治療費 22,000	101 P	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率 1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成 28 年度からは、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・ 特定不妊治療…体外受精及び顕微授精 ・ 一般不妊治療…排卵誘発法、人工授精など ・ 不育症…反復して妊娠はするが、流産や早産、死産などで健常な生児に恵まれない状態 ・ 特定不妊治療助成件数 (延件数) 38 件 ・ 一般不妊治療助成件数 (延件数) 32 件 ・ 男性不妊治療助成件数 (延件数) 0 件 ・ 不育症治療費助成件数 (延件数) 1 件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			○ 一般財源 4,146,000	—			
学校給食費の 保護者負担額 の軽減事業	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 21,674,250 (22,208 千円)	28 繰出金 ・ 駒小学校給食事業特別会 8,201,350 計繰出金 ・ 明小学校給食事業特別会 6,320,350 計繰出金 ・ 学校給食事業特別会計繰 7,152,550 出金	147 P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、児童・生徒 1 人当たり 10,450 円 (950 円×11 カ月) を補助する。 ・ 対前年度：+33,250 円 (+0.2%)	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源 21,674,250	—			
			19 負担金、補助及び交付金 ・ 高校生等通学支援事業補助金 208,000	65 P			
			○ 一般財源 208,000	—			
高校生の 通学支援	継続	高校生等 通学支援事業 208,000 (500 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ 高校生等通学支援事業補助金 208,000	65 P	公共交通の利用促進と高校生等を持つ世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期に対する補助事業を実施した。	総務政策課 (政策室)	安全便利

(2)「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

①就学前の児童と保護者の交流・成長支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
保育士 確保事業	継続	保育士等確保事業 2,450,000 (4,500 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ 保育士等確保事業補助金 2,450,000	93 P	吉岡町では、人口増に伴う年度途中の低年齢児の入所により、保育士等の増員が必要となる場合が多いが、途中入所に対応した保育士等の確保が困難な状況にある。 保育所等では、年度途中の園児数の増加を見込み、年度当初の在園児数に対する保育士等数の配置基準以上に余剰配置することで、途中入所の増加に対応すべく体制を整えているが、当該基準を超えた保育士等に係る経費は、公費負担の算定とならない。 そのため、当該経費の一部を補助することにより、年度途中の園児の受入態勢の充実を図る。 町内 6 保育所等の事業実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源 2,450,000	—			

③子どもの可能性を広げるための学習支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
吉岡町 大樹町 子ども 交流事業	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,555,783 (3,592 千円)	8 報償費 ・体験発表等記念品（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 2,000	153 P	友好都市である北海道大樹町において自然体験・社会体験・宿泊体験を行うことにより、大樹町の子どもたちとの交流のほか、地域社会でリーダーシップを発揮できる青少年を育成することができた。 ・参加者30名。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			9 旅費 ・普通旅費（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 641,400				
			11 需用費 ・消耗品費（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 31,451				
			・食糧費（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 51,020				
			・印刷製本費（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 127,600				
			12 役務費 ・保険料（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 28,800				
			13 委託料 ・業務委託料（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 2,669,300				
			14 使用料及び賃借料 ・携帯電話使用料（吉岡町・大樹町子ども交流事業） 4,212				
			20 諸収入 ・吉岡町・大樹町子ども交流事業負担金 900,000	43 P			
			○ 一般財源 2,655,783	—			

基本目標 3：地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

(1) 地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

① 地域資源の発掘・活用

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
まちの 歴史資源の 発掘・活用	新規	文化財事務所 新築移転工事 61,902,792 (61,947 千円)	13 委託料 ・文化財事務所移転工事設 計監理委託料 5,788,800	161 P	老朽化した既存の文化財事務所を移転し、隣接する南下古墳公園と併せて当町の歴史・文化の情報発信拠点として機能させるため、展示スペースを持つ体験学習室を備えた文化財センターを新築した。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			15 工事請負費 ・文化財事務所移転工事 56,113,992				
			17 寄附金 ・企業版ふるさと納税 30,000,000	37 P			
			18 繰入金 ・教育文化振興基金繰入金 17,000,000	39 P			
			○ 一般財源 14,902,792	—			

② 「吉岡の魅力」の情報発信

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 強化事業	継続	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 機能強化事業 501,000 (900 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・道の駅まつり交付金 501,000	111 P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品の PR 強化を図る事業。 今年度は、道の駅で行われた年 2 回のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域 PR 活動が行われた。	産業建設課 (産業振興室)	産業雇用
			○ 一般財源 501,000	—			

②「吉岡の魅力」の情報発信

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
まちの イメージアップと 観光・行政情報 発信の充実強化	継続	イメージアップ 事業 58,538 (156千円)	8 報償費 ・謝礼(企画費) 13,200 ・イメージアップ事業記念 品(企画費) 45,338	63 P	総合戦略事業及び第5次総合計画のよしおか再発見プロジェクトの一環として、2回目となるフォトコンテストを開催、町の魅力を再発見するとともに、町の魅力を広く内外に発信した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			○ 一般財源 58,538	—			
	新規	居住地としての 町の魅力 調査分析業務委託 (大学連携事業) 300,000 (300千円)	13 委託料 ・居住地としての町の魅力 調査分析業務委託(大学 連携事業) 300,000	63 P	高崎経済大学に業務委託して、群馬県パーソントリップ調査結果等を活用し、住民の居住実態と移動手段の可視化による現況分析を行うことで、吉岡町の地域の実態を適切に把握し、今後の政策の企画・立案に資することを目的に行った。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			○ 一般財源 300,000	—			

(4) 町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

①町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
6次産業化に 対する支援	継続	地域特産品生産 体制構築事業 4,903,200 (5,000千円)	13 委託料 ・地域特産品生産体制構築 事業委託料 4,903,200	109 P	小倉乾燥芋のブランド化に向けた地元生産者との合意形成を図るため、吉岡町乾燥芋協議会を設立し、栽培・製造方法の確立、衛生管理の基準、プロモーション等について議論を交わした。 また、規格外の生芋や乾燥芋を活用した試作品の試験販売、新パッケージデザインの作成など販路拡大に向けた実証を行ったほか、法人化に向けての経営計画の精査等を行った。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			14 国庫支出金 ・地方創生推進交付金 2,451,600	23 P			
			○ 一般財源 2,451,600	—			

①町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

(単位：円)

施策 事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）				
ぐんま新技術 新製品開発 推進事業	継続	ぐんま新技術・ 新製品開発推進 事業 316,000 (400 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ぐんま新技術・新製品開 発推進補助金 316,000	117 P	町内の中小企業者の開発意欲を助長し、その競争 力強化と発展を図ることを目的とし、町内に事業所 をもつ中小企業者が行う新製品・新商品の開発に係 る研究開発費の一部を、県と町が連携して助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 316,000	—			